ダイワ米国株ストラテジーα（通貨選択型）
－トリプルリターンズ－
日本円・コース（毎月分配型）
豪ドル・コース（毎月分配型）
ブラジル・レアル・コース（毎月分配型）
米ドル・コース（毎月分配型）
通貨セレクト・コース（毎月分配型）

運用報告書（全体版）

日本円・コース（毎月分配型）
豪ドル・コース（毎月分配型）
ブラジル・レアル・コース（毎月分配型）
米ドル・コース（毎月分配型）

第102期（決算日　2020年４月７日）
第103期（決算日　2020年５月７日）
第104期（決算日　2020年６月８日）
第105期（決算日　2020年７月７日）
第106期（決算日　2020年８月７日）
第107期（決算日　2020年９月７日）

通貨セレクト・コース（毎月分配型）

第 82 期（決算日　2020年４月７日）
第 83 期（決算日　2020年５月７日）
第 84 期（決算日　2020年６月８日）
第 85 期（決算日　2020年７月７日）
第 86 期（決算日　2020年８月７日）
第 87 期（決算日　2020年９月７日）

（作成対象期間　2020年３月10日～2020年９月７日）

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、割安と判断される米国の株式とオプション取引を組み合わせたカバードコール戦略を構築し、信託財産の成長をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和アセットマネジメント
Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目９番１号
お問い合わせ先（コールセンター）
TEL　０１２０－１０６２１２
（営業日の９：00～17：00）
https://www.daiwa-am.co.jp/

<3834>
<3835>
<3836>
<3837>
<5763>

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式	
信託期間	日本円・コース（毎月分配型） 豪ドル・コース（毎月分配型） ブラジル・レアル・コース（毎月分配型） 米ドル・コース（毎月分配型）	約10年間（2011年９月22日～2021年９月７日）
	通貨セレクト・コース（毎月分配型）	約８年３カ月間（2013年５月31日～2021年９月７日）
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	日本円・コース（毎月分配型）	①ケイマン籍の外国投資信託「オージェンタム・トラストークロッキーＵＳストラテジー・ファンド（日本円・クラス）」の受益証券（円建） ②ダイワ・マネー・マザーファンドの受益証券
	豪ドル・コース（毎月分配型）	①ケイマン籍の外国投資信託「オージェンタム・トラストークロッキーＵＳストラテジー・ファンド（豪ドル・クラス）」の受益証券（円建） ②ダイワ・マネー・マザーファンドの受益証券
	ブラジル・レアル・コース（毎月分配型）	①ケイマン籍の外国投資信託「オージェンタム・トラストークロッキーＵＳストラテジー・ファンド（ブラジル・レアル・クラス）」の受益証券（円建） ②ダイワ・マネー・マザーファンドの受益証券
	米ドル・コース（毎月分配型）	①ケイマン籍の外国投資信託「オージェンタム・トラストークロッキーＵＳストラテジー・ファンド（米ドル・クラス）」の受益証券（円建） ②ダイワ・マネー・マザーファンドの受益証券
	通貨セレクト・コース（毎月分配型）	①ケイマン籍の外国投資信託「オージェンタム・トラストークロッキーＵＳストラテジー・ファンド（通貨セレクト・クラス）」の受益証券（円建） ②ダイワ・マネー・マザーファンドの受益証券
組入制限	投資信託証券への投資割合には、制限を設けません。	
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、継続的な分配を行なうことを目標に、基準価額の水準を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。通貨セレクト・コースは、第１計算期末には、収益の分配は行ないません。	

◇SUZ0383420200907◇

日本円・コース（毎月分配型）

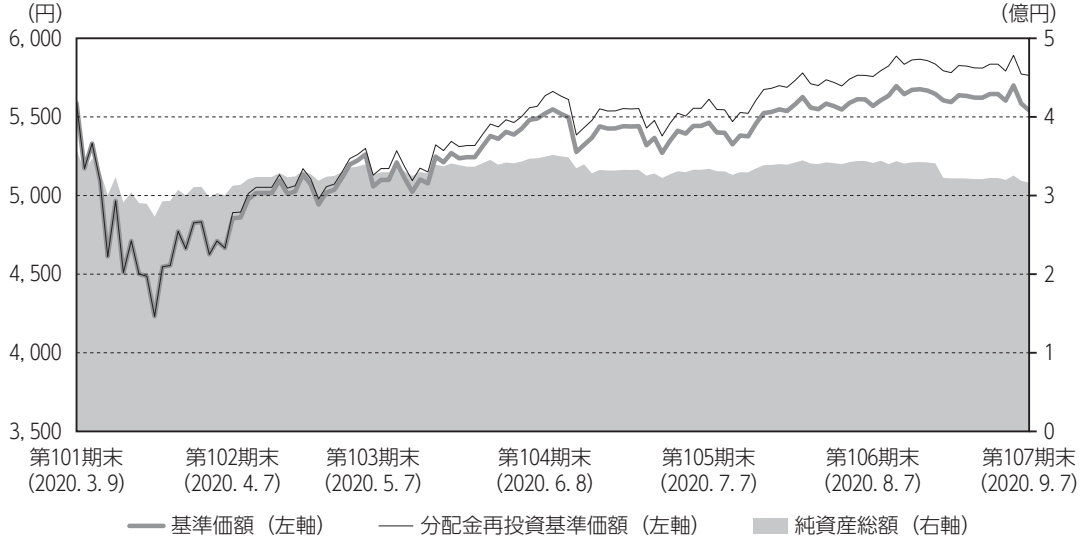
最近30期の運用実績

決算期	基準価額			S＆P500指数（米ドルベース）		公社債組入比率	投資信託受益証券組入比率	純資産総額
	（分配落）	税込み分配金	期中騰落率	（参考指数）	期中騰落率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
78期末（2018年4月9日）	6,921	60	△ 4.5	22,322	△ 4.5	—	98.4	714
79期末（2018年5月7日）	6,823	60	△ 0.5	22,827	2.3	—	98.5	693
80期末（2018年6月7日）	7,042	60	4.1	23,761	4.1	—	98.5	708
81期末（2018年7月9日）	6,894	60	△ 1.2	23,654	△ 0.5	0.0	98.8	652
82期末（2018年8月7日）	7,021	60	2.7	24,430	3.3	0.0	99.0	649
83期末（2018年9月7日）	6,947	60	△ 0.2	24,667	1.0	—	99.0	623
84期末（2018年10月9日）	6,879	60	△ 0.1	24,722	0.2	—	98.7	610
85期末（2018年11月7日）	6,511	60	△ 4.5	23,616	△ 4.5	—	98.5	574
86期末（2018年12月7日）	6,381	60	△ 1.1	23,106	△ 2.2	—	98.8	559
87期末（2019年1月7日）	5,979	35	△ 5.8	21,701	△ 6.1	—	98.7	515
88期末（2019年2月7日）	6,371	35	7.1	23,412	7.9	—	98.6	546
89期末（2019年3月7日）	6,327	35	△ 0.1	23,753	1.5	0.0	99.2	531
90期末（2019年4月8日）	6,521	35	3.6	24,793	4.4	—	98.4	536
91期末（2019年5月7日）	6,396	35	△ 1.4	25,133	1.4	—	99.1	517
92期末（2019年6月7日）	5,937	35	△ 6.6	24,371	△ 3.0	—	98.5	465
93期末（2019年7月8日）	6,186	35	4.8	25,630	5.2	—	98.5	479
94期末（2019年8月7日）	5,947	35	△ 3.3	24,699	△ 3.6	—	98.3	458
95期末（2019年9月9日）	6,094	35	3.1	25,530	3.4	—	98.5	468
96期末（2019年10月7日）	5,970	35	△ 1.5	25,301	△ 0.9	—	98.3	445
97期末（2019年11月7日）	6,383	35	7.5	26,370	4.2	—	98.1	459
98期末（2019年12月9日）	6,414	35	1.0	26,963	2.2	—	98.3	445
99期末（2020年1月7日）	6,483	35	1.6	27,823	3.2	—	98.3	454
100期末（2020年2月7日）	6,398	35	△ 0.8	28,676	3.1	—	98.3	422
101期末（2020年3月9日）	5,588	35	△ 12.1	25,475	△ 11.2	—	97.9	358
102期末（2020年4月7日）	4,856	35	△ 12.5	22,830	△ 10.4	—	97.8	312
103期末（2020年5月7日）	5,058	35	4.9	24,413	6.9	—	98.4	326
104期末（2020年6月8日）	5,522	35	9.9	27,374	12.1	—	99.5	349
105期末（2020年7月7日）	5,464	35	△ 0.4	27,253	△ 0.4	—	99.1	334
106期末（2020年8月7日）	5,570	35	2.6	28,705	5.3	—	99.6	341
107期末（2020年9月7日）	5,542	35	0.1	29,372	2.3	—	99.4	316

（注1）基準価額の騰落率は分配金込み。
（注2）S＆P500指数（米ドルベース）は、S＆P500指数（米ドルベース）の原データをもとに、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。S＆P500指数（米ドルベース）の所有権およびその他一切の権利は、S＆P Dow Jones Indices LLCが有しています。S＆P Dow Jones Indices LLCは、同指数の算出にかかる誤謬等に関し、いかなる者に対しても責任を負うものではありません。
（注3）海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。
（注4）指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。
（注5）公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。
（注6）公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。

運用経過

基準価額等の推移について



＊分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
＊分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

■基準価額・騰落率

第102期首：5,588円
第107期末：5,542円（既払分配金210円）
騰　落　率：3.2%（分配金再投資ベース）

■基準価額の主な変動要因

クロッキーＵＳストラテジー・ファンド（日本円・クラス）とダイワ・マネー・マザーファンドに投資した結果、クロッキーＵＳストラテジー・ファンド（日本円・クラス）が上昇したことがプラス要因となり、基準価額は上昇しました。クロッキーＵＳストラテジー・ファンド（日本円・クラス）については、米国の株式とオプション取引を組み合わせたカバードコール戦略を構築するとともに、為替ヘッジを行った結果、「クロッキーモデル」によって選定された銘柄で構築する株式ポートフォリオが上昇したことがプラス要因となった一方、オプション取引戦略はマイナス要因となりました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

※クロッキーＵＳストラテジー・ファンド（日本円・クラス）：オージェンタム・トラストークロッキーＵＳストラテジー・ファンド（日本円・クラス）

	年　月　日	基準価額		S&P500指数（米ドルベース）		公社債組入比率	投資信託受益証券組入比率
			騰落率	（参考指数）	騰落率		
		円	%		%	%	%
第102期	（期首）2020年3月9日	5,588	—	25,475	—	—	97.9
	3月末	4,827	△ 13.6	22,512	△ 11.6	—	97.0
	（期末）2020年4月7日	4,891	△ 12.5	22,830	△ 10.4	—	97.8
第103期	（期首）2020年4月7日	4,856	—	22,830	—	—	97.8
	4月末	5,223	7.6	25,194	10.4	—	97.8
	（期末）2020年5月7日	5,093	4.9	24,413	6.9	—	98.4
第104期	（期首）2020年5月7日	5,058	—	24,413	—	—	98.4
	5月末	5,361	6.0	25,967	6.4	—	98.8
	（期末）2020年6月8日	5,557	9.9	27,374	12.1	—	99.5
第105期	（期首）2020年6月8日	5,522	—	27,374	—	—	99.5
	6月末	5,349	△ 3.1	26,169	△ 4.4	—	99.3
	（期末）2020年7月7日	5,499	△ 0.4	27,253	△ 0.4	—	99.1
第106期	（期首）2020年7月7日	5,464	—	27,253	—	—	99.1
	7月末	5,569	1.9	27,823	2.1	—	99.0
	（期末）2020年8月7日	5,605	2.6	28,705	5.3	—	99.6
第107期	（期首）2020年8月7日	5,570	—	28,705	—	—	99.6
	8月末	5,646	1.4	30,066	4.7	—	98.8
	（期末）2020年9月7日	5,577	0.1	29,372	2.3	—	99.4

（注）期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

（2020. 3. 10 ～ 2020. 9. 7）

■米国株式市況

米国株式市場は上昇しました。

米国株式市況は、当作成期首より、新型コロナウイルスによる世界経済停滞への懸念が広がり、下落しました。しかし、新型コロナウイルス感染率の低下やグローバルスケールでの投資家のポジショニングの転換、大規模な財政出動により、2020年３月下旬で株式相場は底を打ち上昇に転じ、当作成期末にかけて上昇基調が継続しました。

■短期金利市況

日本の短期金利は、日銀が「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」を維持し、短期金利は低位で推移しました。一方、米国の短期金利は、ＦＲＢ（米国連邦準備制度理事会）がＦＯＭＣ（米国連邦公開市場委員会）で政策金利の誘導目標レンジを1. 00～1. 25％から0～0. 25％に引き下げました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

引き続き、クロッキーＵＳストラテジー・ファンド（日本円・クラス）とダイワ・マネー・マザーファンドに投資します。また、クロッキーＵＳストラテジー・ファンド（日本円・クラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

■クロッキーＵＳストラテジー・ファンド（日本円・クラス）

Ｓ＆Ｐ500種株価指数構成銘柄の時価総額上位半数程度の銘柄からＧＩＣＳ（世界産業分類基準）の金融セクターに属する銘柄を除いた銘柄を投資対象銘柄とし、「クロッキーモデル」を用いて会計データを重点分析し、割安と判断される40銘柄を選定します。選定時における各銘柄の構成比率はおおむね均等とします。個別銘柄ごとに、当該株式を原資産とするコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築します。為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行います。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

ポートフォリオについて

（2020. 3. 10 ～ 2020. 9. 7）

■当ファンド

当ファンドは、クロッキーＵＳストラテジー・ファンド（日本円・クラス）とダイワ・マネー・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズであり、当作成期を通じてクロッキーＵＳストラテジー・ファンド（日本円・クラス）とダイワ・マネー・マザーファンドに投資しました。また、クロッキーＵＳストラテジー・ファンド（日本円・クラス）への投資割合を高位に維持しました。

■クロッキーＵＳストラテジー・ファンド（日本円・クラス）

Ｓ＆Ｐ500種株価指数構成銘柄の時価総額上位半数程度の銘柄からＧＩＣＳ（世界産業分類基準）の金融セクターに属する銘柄を除いた銘柄を投資対象銘柄とし、「クロッキーモデル」を用いて会計データを重点分析し、割安と判断される40銘柄を選定しました。選定時における各銘柄の構成比率はおおむね均等としました。個別銘柄ごとに、当該株式を原資産とするコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築しました。為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行いました。

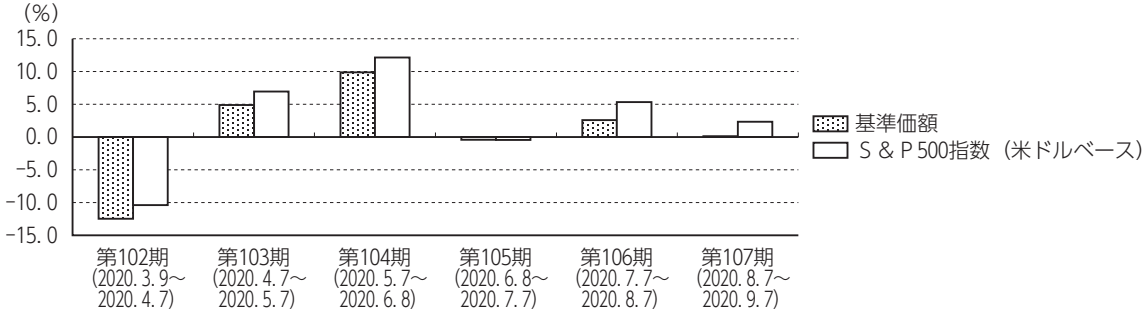
■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、現先取引やコール・ローン等による運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。当ファンドはカバードコール戦略を構築していますので、オプション取引要因は参考指数との差異の要因に含まれます。



分配金について

当作成期の１万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（１万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。
収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（１万口当り）」をご参照ください。
なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（１万口当り）

項目	第102期 2020年３月10日 ～2020年４月７日	第103期 2020年４月８日 ～2020年５月７日	第104期 2020年５月８日 ～2020年６月８日	第105期 2020年６月９日 ～2020年７月７日	第106期 2020年７月８日 ～2020年８月７日	第107期 2020年８月８日 ～2020年９月７日
当期分配金(税込み)（円）	**35**	**35**	**35**	**35**	**35**	**35**
対基準価額比率（％）	0.72	0.69	0.63	0.64	0.62	0.63
当期の収益　（円）	35	31	35	35	35	35
当期の収益以外（円）	－	3	－	－	－	－
翌期繰越分配対象額（円）	229	225	242	252	260	266

（注１）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
（注２）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。
（注３）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

■収益分配金の計算過程（１万口当り）

項目	第102期	第103期	第104期	第105期	第106期	第107期
（ａ）経費控除後の配当等収益	✓ 38.43円	✓ 31.34円	✓ 52.10円	✓ 44.46円	✓ 43.31円	✓ 40.56円
（ｂ）経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
（ｃ）収益調整金	212.64	212.69	212.72	212.99	213.11	213.22
（ｄ）分配準備積立金	13.39	✓ 16.78	13.09	29.93	39.30	47.50
（ｅ）当期分配対象額（a+b+c+d）	264.46	260.81	277.92	287.39	295.73	301.30
（ｆ）分配金	35.00	35.00	35.00	35.00	35.00	35.00
（ｇ）翌期繰越分配対象額（e－f）	229.46	225.81	242.92	252.39	260.73	266.30

（注）✓を付した該当項目から分配金を計上しています。

今後の運用方針

■当ファンド

引き続き、クロッキーＵＳストラテジー・ファンド（日本円・クラス）とダイワ・マネー・マザーファンドに投資します。また、クロッキーＵＳストラテジー・ファンド（日本円・クラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

■クロッキーＵＳストラテジー・ファンド（日本円・クラス）

Ｓ＆Ｐ500種株価指数構成銘柄の時価総額上位半数程度の銘柄からＧＩＣＳ（世界産業分類基準）の金融セクターに属する銘柄を除いた銘柄を投資対象銘柄とし、「クロッキーモデル」を用いて会計データを重点分析し、割安と判断される40銘柄を選定します。選定時における各銘柄の構成比率はおおむね均等とします。個別銘柄ごとに、当該株式を原資産とするコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築します。為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行います。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

1万口当りの費用の明細

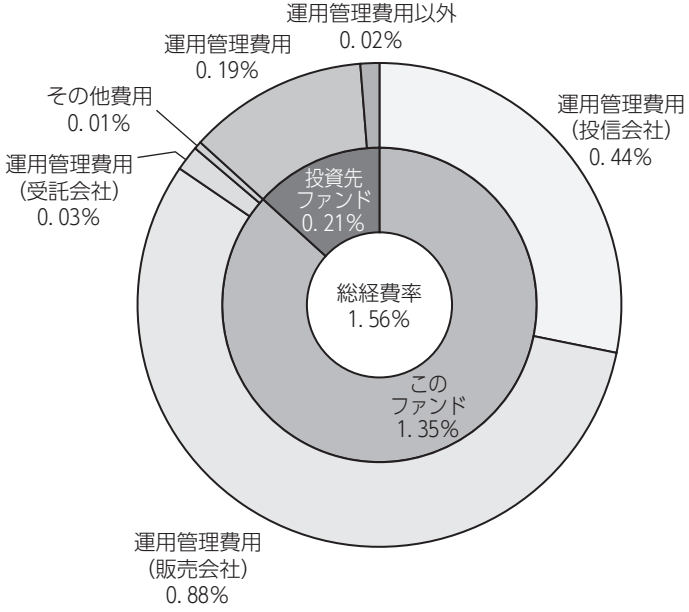
項　目	第102期～第107期 (2020. 3. 10～2020. 9. 7)		項　目　の　概　要
	金　額	比　率	
信　託　報　酬	35円	0. 671%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 **当作成期中の平均基準価額は5, 271円です。**
（投信会社）	(12)	(0. 219)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
（販売会社）	(23)	(0. 439)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	(1)	(0. 013)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0. 004	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
（監査費用）	(0)	(0. 004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（そ　の　他）	(0)	(0. 000)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合　　計	36	0. 674	

（注１）当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。
（注２）各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。
（注３）各比率は１万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第３位未満を四捨五入してあります。
（注４）組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「１万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（１口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.56％です。



総経費率　（　①　＋　②　＋　③　）	1.56%
①このファンドの費用の比率	1.35%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.19%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.02%

（注１）①の費用は、１万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
（注２）各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。
（注３）各比率は、年率換算した値です。
（注４）投資先ファンドとは、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。
（注５）①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。
（注６）①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。
（注７）上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■売買および取引の状況
投資信託受益証券

（2020年３月10日から2020年９月７日まで）

決算期	第102期～第107期			
	買付		売付	
	口数	金額	口数	金額
	千口	千円	千口	千円
外国（邦貨建）	308.79249	19,860	736.66735	50,600

（注１）買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。
（注２）金額は受渡し代金。
（注３）金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄
投資信託受益証券

（2020年３月10日から2020年９月７日まで）

第102期～第107期							
買付				売付			
銘柄	口数	金額	平均単価	銘柄	口数	金額	平均単価
	千口	千円	円		千口	千円	円
CROCI US STRATEGY FUND JPY CLASS（ケイマン諸島）	47.42933	3,000	63	CROCI US STRATEGY FUND JPY CLASS（ケイマン諸島）	736.66735	50,600	68

（注１）金額は受渡し代金。
（注２）金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表
(1) ファンド・オブ・ファンズが組み入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	第107期末		
	口数	評価額	比率
	千口	千円	%
外国投資信託受益証券 （ケイマン諸島） CROCI US STRATEGY FUND JPY CLASS	4,536.891	314,488	99.4

（注１）比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。
（注２）評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種類	第101期末	第107期末	
	口数	口数	評価額
	千口	千口	千円
ダイワ・マネー・マザーファンド	132	132	135

（注）単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2020年９月７日現在

項目	第107期末	
	評価額	比率
	千円	%
投資信託受益証券	314,488	98.6
ダイワ・マネー・マザーファンド	135	0.0
コール・ローン等、その他	4,212	1.4
投資信託財産総額	318,835	100.0

（注）評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

（2020年４月７日）、（2020年５月７日）、（2020年６月８日）、（2020年７月７日）、（2020年８月７日）、（2020年９月７日）現在

項　　目	第102期末	第103期末	第104期末	第105期末	第106期末	第107期末
（A）資産	**315, 216, 432円**	**329, 088, 671円**	**352, 110, 555円**	**336, 617, 243円**	**344, 049, 357円**	**318, 835, 849円**
コール・ローン等	9, 410, 376	7, 590, 561	4, 282, 710	5, 390, 133	3, 770, 346	4, 212, 612
投資信託受益証券（評価額）	305, 671, 003	321, 363, 057	347, 692, 805	331, 092, 070	340, 143, 984	314, 488, 210
ダイワ・マネー・マザーファンド（評価額）	135, 053	135, 053	135, 040	135, 040	135, 027	135, 027
（B）負債	**2, 582, 227**	**2, 627, 469**	**2, 630, 490**	**2, 506, 554**	**2, 550, 459**	**2, 390, 145**
未払収益分配金	2, 253, 476	2, 258, 915	2, 214, 957	2, 140, 342	2, 145, 900	1, 998, 377
未払解約金	—	1, 003	10, 796	—	6, 691	—
未払信託報酬	326, 764	363, 344	398, 104	357, 412	386, 723	378, 318
その他未払費用	1, 987	4, 207	6, 633	8, 800	11, 145	13, 450
（C）純資産総額（A－B）	**312, 634, 205**	**326, 461, 202**	**349, 480, 065**	**334, 110, 689**	**341, 498, 898**	**316, 445, 704**
元本	643, 850, 507	645, 404, 558	632, 844, 970	611, 526, 470	613, 114, 513	570, 965, 099
次期繰越損益金	△ 331, 216, 302	△ 318, 943, 356	△ 283, 364, 905	△ 277, 415, 781	△ 271, 615, 615	△ 254, 519, 395
（D）受益権総口数	**643, 850, 507口**	**645, 404, 558口**	**632, 844, 970口**	**611, 526, 470口**	**613, 114, 513口**	**570, 965, 099口**
１万口当り基準価額（C／D）	**4, 856円**	**5, 058円**	**5, 522円**	**5, 464円**	**5, 570円**	**5, 542円**

＊第101期末における元本額は640, 787, 150円、当作成期間（第102期～第107期）中における追加設定元本額は22, 110, 869円、同解約元本額は91, 932, 920円です。
＊第107期末の計算口数当りの純資産額は5, 542円です。
＊第107期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は254, 519, 395円です。

■損益の状況

第102期　自 2020年３月10日　至 2020年４月７日　　第104期　自 2020年５月８日　至 2020年６月８日　　第106期　自 2020年７月８日　至 2020年８月７日
第103期　自 2020年４月８日　至 2020年５月７日　　第105期　自 2020年６月９日　至 2020年７月７日　　第107期　自 2020年８月８日　至 2020年９月７日

項　　目	第102期	第103期	第104期	第105期	第106期	第107期
（A）配当等収益	**2, 803, 113円**	**2, 070, 967円**	**3, 339, 312円**	**3, 079, 035円**	**2, 774, 914円**	**2, 696, 936円**
受取配当金	2, 803, 509	2, 071, 222	3, 339, 475	3, 079, 163	2, 774, 999	2, 697, 204
受取利息	12	—	—	3	5	4
支払利息	△ 408	△ 255	△ 163	△ 131	△ 90	△ 272
（B）有価証券売買損益	**△ 46, 965, 747**	**13, 620, 506**	**28, 645, 163**	**△ 4, 076, 902**	**6, 276, 702**	**△ 1, 895, 900**
売買益	582, 670	13, 620, 779	28, 921, 256	508, 901	6, 276, 819	301, 583
売買損	△ 47, 548, 417	△ 273	△ 276, 093	△ 4, 585, 803	△ 117	△ 2, 197, 483
（C）信託報酬等	**△ 328, 751**	**△ 365, 564**	**△ 400, 533**	**△ 359, 589**	**△ 389, 074**	**△ 380, 623**
（D）当期損益金（A＋B＋C）	**△ 44, 491, 385**	**15, 325, 909**	**31, 583, 942**	**△ 1, 357, 456**	**8, 662, 542**	**420, 413**
（E）前期繰越損益金	**△ 137, 403, 804**	**△ 184, 143, 293**	**△ 167, 377, 388**	**△ 132, 194, 954**	**△ 135, 685, 034**	**△ 120, 013, 428**
（F）追加信託差損益金	**△ 147, 067, 637**	**△ 147, 867, 057**	**△ 145, 356, 502**	**△ 141, 723, 029**	**△ 142, 447, 223**	**△ 132, 928, 003**
（配当等相当額）	(13, 691, 231)	(13, 727, 344)	(13, 462, 210)	(13, 025, 026)	(13, 066, 498)	(12, 174, 567)
（売買損益相当額）	(△ 160, 758, 868)	(△ 161, 594, 401)	(△ 158, 818, 712)	(△ 154, 748, 055)	(△ 155, 513, 721)	(△ 145, 102, 570)
（G）合計（D＋E＋F）	**△ 328, 962, 826**	**△ 316, 684, 441**	**△ 281, 149, 948**	**△ 275, 275, 439**	**△ 269, 469, 715**	**△ 252, 521, 018**
（H）収益分配金	**△ 2, 253, 476**	**△ 2, 258, 915**	**△ 2, 214, 957**	**△ 2, 140, 342**	**△ 2, 145, 900**	**△ 1, 998, 377**
次期繰越損益金（G＋H）	**△ 331, 216, 302**	**△ 318, 943, 356**	**△ 283, 364, 905**	**△ 277, 415, 781**	**△ 271, 615, 615**	**△ 254, 519, 395**
追加信託差損益金	△ 147, 067, 637	△ 147, 867, 057	△ 145, 356, 502	△ 141, 723, 029	△ 142, 447, 223	△ 132, 928, 003
（配当等相当額）	(13, 691, 231)	(13, 727, 344)	(13, 462, 210)	(13, 025, 026)	(13, 066, 498)	(12, 174, 567)
（売買損益相当額）	(△ 160, 758, 868)	(△ 161, 594, 401)	(△ 158, 818, 712)	(△ 154, 748, 055)	(△ 155, 513, 721)	(△ 145, 102, 570)
分配準備積立金	1, 083, 131	846, 896	1, 911, 121	2, 409, 720	2, 919, 304	3, 030, 329
繰越損益金	△ 185, 231, 796	△ 171, 923, 195	△ 139, 919, 524	△ 138, 102, 472	△ 132, 087, 696	△ 124, 621, 721

（注１）信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。
（注２）追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。
（注３）収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項　　目	第102期	第103期	第104期	第105期	第106期	第107期
(a) 経費控除後の配当等収益	2, 474, 361円	2, 022, 711円	3, 297, 493円	2, 719, 445円	2, 655, 623円	2, 316, 311円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	13, 691, 231	13, 727, 344	13, 462, 210	13, 025, 026	13, 066, 498	12, 174, 567
(d) 分配準備積立金	862, 246	1, 083, 100	828, 585	1, 830, 617	2, 409, 581	2, 712, 395
(e) 当期分配対象額（a＋b＋c＋d）	17, 027, 838	16, 833, 155	17, 588, 288	17, 575, 088	18, 131, 702	17, 203, 273
(f) 分配金	2, 253, 476	2, 258, 915	2, 214, 957	2, 140, 342	2, 145, 900	1, 998, 377
(g) 翌期繰越分配対象額（e－f）	14, 774, 362	14, 574, 240	15, 373, 331	15, 434, 746	15, 985, 802	15, 204, 896
(h) 受益権総口数	643, 850, 507口	645, 404, 558口	632, 844, 970口	611, 526, 470口	613, 114, 513口	570, 965, 099口

収　益　分　配　金　の　お　知　ら　せ						
1万口当り分配金	第102期	第103期	第104期	第105期	第106期	第107期
	35円	35円	35円	35円	35円	35円

●〈分配金再投資コース〉をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

豪ドル・コース（毎月分配型）

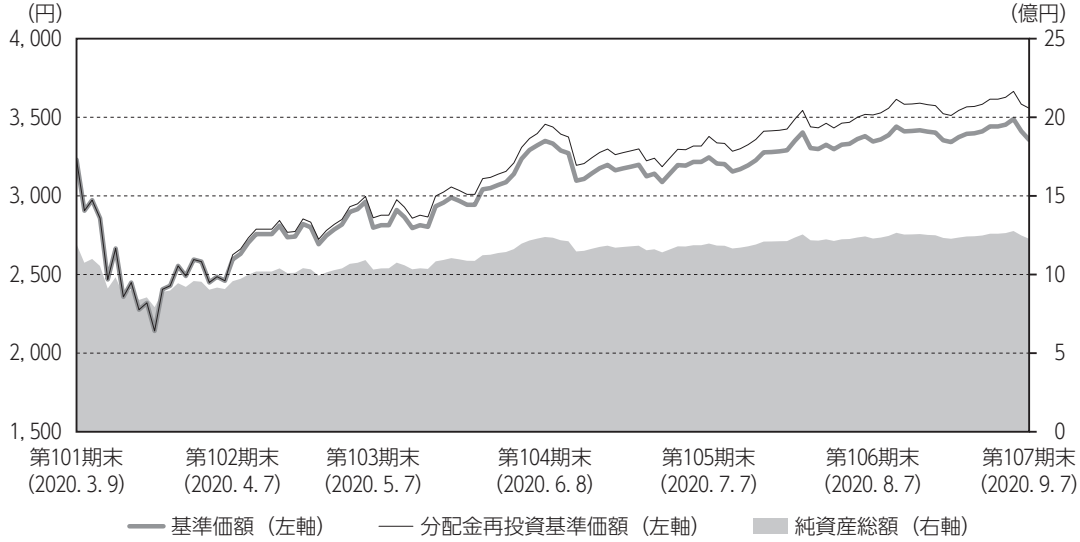
最近30期の運用実績

決算期	基準価額			S＆P500指数（米ドルベース）		豪ドル為替レート		公社債組入比率	投資信託受益証券組入比率	純資産総額
	（分配落）	税込み分配金	期中騰落率	（参考指数）	期中騰落率	（参考指数）	期中騰落率			
	円	円	%		%	円	%	%	%	百万円
78期末（2018年4月9日）	4,968	70	△ 5.3	22,322	△ 4.5	82.13	△ 0.0	—	98.6	3,204
79期末（2018年5月7日）	4,895	70	△ 0.1	22,827	2.3	82.02	△ 0.1	—	99.4	3,112
80期末（2018年6月7日）	5,150	70	6.6	23,761	4.1	84.47	3.0	—	98.8	3,240
81期末（2018年7月9日）	4,883	70	△ 3.8	23,654	△ 0.5	82.27	△ 2.6	0.0	99.6	2,982
82期末（2018年8月7日）	4,972	70	3.3	24,430	3.3	82.23	△ 0.0	0.0	98.8	2,994
83期末（2018年9月7日）	4,770	45	△ 3.2	24,667	1.0	79.41	△ 3.4	—	98.7	2,763
84期末（2018年10月9日）	4,768	45	0.9	24,722	0.2	79.96	0.7	—	98.7	2,671
85期末（2018年11月7日）	4,593	45	△ 2.7	23,616	△ 4.5	82.02	2.6	—	98.8	2,514
86期末（2018年12月7日）	4,452	45	△ 2.1	23,106	△ 2.2	81.50	△ 0.6	—	98.6	2,380
87期末（2019年1月7日）	3,934	45	△10.6	21,701	△ 6.1	77.24	△ 5.2	—	98.4	2,033
88期末（2019年2月7日）	4,249	45	9.2	23,412	7.9	78.09	1.1	—	98.6	2,148
89期末（2019年3月7日）	4,217	45	0.3	23,753	1.5	78.50	0.5	0.0	98.7	2,086
90期末（2019年4月8日）	4,372	45	4.7	24,793	4.4	79.07	0.7	—	98.7	2,115
91期末（2019年5月7日）	4,252	30	△ 2.1	25,133	1.4	77.38	△ 2.1	—	98.8	2,011
92期末（2019年6月7日）	3,786	30	△10.3	24,371	△ 3.0	75.67	△ 2.2	—	99.0	1,739
93期末（2019年7月8日）	3,946	30	5.0	25,630	5.2	75.75	0.1	—	99.3	1,700
94期末（2019年8月7日）	3,604	30	△ 7.9	24,699	△ 3.6	71.89	△ 5.1	—	98.5	1,516
95期末（2019年9月9日）	3,749	30	4.9	25,530	3.4	73.15	1.8	—	98.8	1,540
96期末（2019年10月7日）	3,623	30	△ 2.6	25,301	△ 0.9	72.16	△ 1.4	—	98.5	1,461
97期末（2019年11月7日）	4,016	30	11.7	26,370	4.2	74.90	3.8	—	98.6	1,592
98期末（2019年12月9日）	3,985	30	△ 0.0	26,963	2.2	74.21	△ 0.9	—	98.0	1,541
99期末（2020年1月7日）	4,070	30	2.9	27,823	3.2	75.16	1.3	—	98.3	1,552
100期末（2020年2月7日）	3,947	30	△ 2.3	28,676	3.1	73.82	△ 1.8	—	99.0	1,478
101期末（2020年3月9日）	3,230	30	△17.4	25,475	△11.2	67.44	△ 8.6	—	98.2	1,193
102期末（2020年4月7日）	2,596	30	△18.7	22,830	△10.4	66.59	△ 1.3	—	99.2	957
103期末（2020年5月7日）	2,798	30	8.9	24,413	6.9	68.00	2.1	—	98.1	1,031
104期末（2020年6月8日）	3,350	30	20.8	27,374	12.1	76.45	12.4	—	99.1	1,238
105期末（2020年7月7日）	3,245	30	△ 2.2	27,253	△ 0.4	74.99	△ 1.9	—	99.4	1,197
106期末（2020年8月7日）	3,346	30	4.0	28,705	5.3	76.36	1.8	—	98.1	1,228
107期末（2020年9月7日）	3,357	30	1.2	29,372	2.3	77.50	1.5	—	99.6	1,227

（注1）基準価額の騰落率は分配金込み。
（注2）S＆P500指数（米ドルベース）は、S＆P500指数（米ドルベース）の原データをもとに、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。S＆P500指数（米ドルベース）の所有権およびその他一切の権利は、S＆P Dow Jones Indices LLCが有しています。S＆P Dow Jones Indices LLCは、同指数の算出にかかる誤謬等に関し、いかなる者に対しても責任を負うものではありません。
（注3）海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。
（注4）為替レートは、計算日における対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートを採用しています。
（注5）指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。
（注6）公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。
（注7）公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。

運用経過

基準価額等の推移について



＊分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
＊分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

■基準価額・騰落率

第102期首：3,230円
第107期末：3,357円（既払分配金180円）
騰　落　率：10.1%（分配金再投資ベース）

■基準価額の主な変動要因

クロッキーＵＳストラテジー・ファンド（豪ドル・クラス）とダイワ・マネー・マザーファンドに投資した結果、クロッキーＵＳストラテジー・ファンド（豪ドル・クラス）の上昇がプラス要因となり、基準価額は上昇しました。クロッキーＵＳストラテジー・ファンド（豪ドル・クラス）については、米国の株式とオプション取引を組み合わせたカバードコール戦略を構築するとともに、米ドル売り／豪ドル買いの為替取引を活用した結果、「クロッキーモデル」によって選定された銘柄で構築する株式ポートフォリオが上昇したことや豪ドルが対円で上昇（円安）したことがプラス要因となった一方、オプション取引戦略はマイナス要因となりました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

※クロッキーＵＳストラテジー・ファンド（豪ドル・クラス）：オージェンタム・トラストークロッキーＵＳストラテジー・ファンド（豪ドル・クラス）

ダイワ米国株ストラテジーα（通貨選択型）－トリプルリターンズ－ 豪ドル・コース（毎月分配型）

	年　月　日	基準価額		S&P500指数（米ドルベース）		豪ドル為替レート		公社債組入比率	投資信託受益証券組入比率
			騰落率	（参考指数）	騰落率	（参考指数）	騰落率		
		円	%		%	円	%	%	%
第102期	（期首）2020年3月9日	3,230	—	25,475	—	67.44	—	—	98.2
	3月末	2,595	△19.7	22,512	△11.6	66.09	△ 2.0	—	97.8
	（期末）2020年4月7日	2,626	△18.7	22,830	△10.4	66.59	△ 1.3	—	99.2
第103期	（期首）2020年4月7日	2,596	—	22,830	—	66.59	—	—	99.2
	4月末	2,916	12.3	25,194	10.4	69.84	4.9	—	97.1
	（期末）2020年5月7日	2,828	8.9	24,413	6.9	68.00	2.1	—	98.1
第104期	（期首）2020年5月7日	2,798	—	24,413	—	68.00	—	—	98.1
	5月末	3,070	9.7	25,967	6.4	71.35	4.9	—	98.8
	（期末）2020年6月8日	3,380	20.8	27,374	12.1	76.45	12.4	—	99.1
第105期	（期首）2020年6月8日	3,350	—	27,374	—	76.45	—	—	99.1
	6月末	3,143	△ 6.2	26,169	△ 4.4	73.88	△ 3.4	—	99.3
	（期末）2020年7月7日	3,275	△ 2.2	27,253	△ 0.4	74.99	△ 1.9	—	99.4
第106期	（期首）2020年7月7日	3,245	—	27,253	—	74.99	—	—	99.4
	7月末	3,297	1.6	27,823	2.1	75.37	0.5	—	99.7
	（期末）2020年8月7日	3,376	4.0	28,705	5.3	76.36	1.8	—	98.1
第107期	（期首）2020年8月7日	3,346	—	28,705	—	76.36	—	—	98.1
	8月末	3,442	2.9	30,066	4.7	77.50	1.5	—	98.6
	（期末）2020年9月7日	3,387	1.2	29,372	2.3	77.50	1.5	—	99.6

（注）期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

（2020. 3. 10 ～ 2020. 9. 7）

■米国株式市況

米国株式市場は上昇しました。

米国株式市況は、当作成期首より、新型コロナウイルスによる世界経済停滞への懸念が広がり、下落しました。しかし、新型コロナウイルス感染率の低下やグローバルスケールでの投資家のポジショニングの転換、大規模な財政出動により、2020年３月下旬で株式相場は底を打ち上昇に転じ、当作成期末にかけて上昇基調が継続しました。

■為替相場

豪ドルは対円で上昇しました。

当作成期首より、新型コロナウイルスの感染状況の悪化に伴い一時円が急伸しましたが、株式市場の上昇などを背景にリスクへの投資家心理が回復する中で反転し、豪ドルは上昇基調に転じました。ＲＢＡ（オーストラリア準備銀行）による追加緩和への消極的姿勢、中国における新型コロナウイルスの感染状況の落ち着きや景気回復も、豪ドルの上昇基調をサポートする要因となりました。

■短期金利市況

オーストラリアの短期金利は、ＲＢＡ（オーストラリア準備銀行）が政策金利を0. 50％から0. 25％に引き下げました。一方、米国の短期金利は、ＦＲＢ（米国連邦準備制度理事会）がＦＯＭＣ（米国連邦公開市場委員会）で政策金利の誘導目標レンジを1. 00～1. 25％から0～0. 25％に引き下げました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

引き続き、クロッキーＵＳストラテジー・ファンド（豪ドル・クラス）とダイワ・マネー・マザーファンドに投資します。また、クロッキーＵＳストラテジー・ファンド（豪ドル・クラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

■クロッキーＵＳストラテジー・ファンド（豪ドル・クラス）

Ｓ＆Ｐ500種株価指数構成銘柄の時価総額上位半数程度の銘柄からＧＩＣＳ（世界産業分類基準）の金融セクターに属する銘柄を除いた銘柄を投資対象銘柄とし、「クロッキーモデル」を用いて会計データを重点分析し、割安と判断される40銘柄を選定します。選定時における各銘柄の構成比率

はおおむね均等とします。個別銘柄ごとに、当該株式を原資産とするコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築します。米ドル売り／豪ドル買いの為替取引を活用して、豪ドルで実質的な運用を行います。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

ポートフォリオについて

（2020. 3. 10 ～ 2020. 9. 7）

■当ファンド

当ファンドは、クロッキーＵＳストラテジー・ファンド（豪ドル・クラス）とダイワ・マネー・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズであり、当作成期を通じてクロッキーＵＳストラテジー・ファンド（豪ドル・クラス）とダイワ・マネー・マザーファンドに投資しました。また、クロッキーＵＳストラテジー・ファンド（豪ドル・クラス）への投資割合を高位に維持しました。

■クロッキーＵＳストラテジー・ファンド（豪ドル・クラス）

Ｓ＆Ｐ500種株価指数構成銘柄の時価総額上位半数程度の銘柄からＧＩＣＳ（世界産業分類基準）の金融セクターに属する銘柄を除いた銘柄を投資対象銘柄とし、「クロッキーモデル」を用いて会計データを重点分析し、割安と判断される40銘柄を選定しました。選定時における各銘柄の構成比率はおおむね均等としました。個別銘柄ごとに、当該株式を原資産とするコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築しました。米ドル売り／豪ドル買いの為替取引を活用して、豪ドルで実質的な運用を行いました。

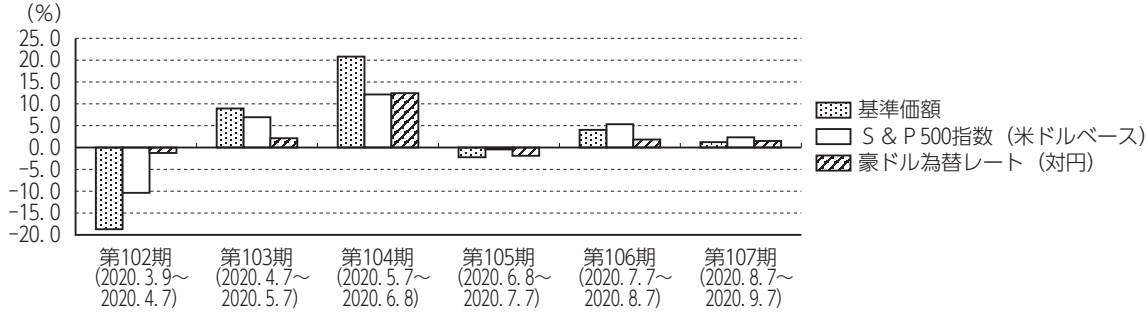
■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、現先取引やコール・ローン等による運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。当ファンドはカバードコール戦略を構築していますので、オプション取引要因は参考指数との差異の要因に含まれます。



分配金について

当作成期の１万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（１万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（１万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（１万口当り）

項　　目	第102期 2020年３月10日 ～2020年４月７日	第103期 2020年４月８日 ～2020年５月７日	第104期 2020年５月８日 ～2020年６月８日	第105期 2020年６月９日 ～2020年７月７日	第106期 2020年７月８日 ～2020年８月７日	第107期 2020年８月８日 ～2020年９月７日
当期分配金（税込み）（円）	**30**	**30**	**30**	**30**	**30**	**30**
対基準価額比率（%）	1.14	1.06	0.89	0.92	0.89	0.89
当期の収益　（円）	26	17	28	24	26	25
当期の収益以外（円）	3	12	1	5	3	4
翌期繰越分配対象額（円）	232	220	219	213	209	205

（注１）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
（注２）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。
（注３）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

■収益分配金の計算過程（１万口当り）

項　　目	第102期	第103期	第104期	第105期	第106期	第107期
（ａ）経費控除後の配当等収益	✓ 26.92円	✓ 17.94円	✓ 28.79円	✓ 24.56円	✓ 26.12円	✓ 25.94円
（ｂ）経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
（ｃ）収益調整金	✓ 235.29	✓ 232.22	✓ 220.34	✓ 219.15	✓ 213.72	✓ 209.85
（ｄ）分配準備積立金	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
（ｅ）当期分配対象額（a+b+c+d）	262.22	250.17	249.14	243.71	239.85	235.79
（ｆ）分配金	30.00	30.00	30.00	30.00	30.00	30.00
（ｇ）翌期繰越分配対象額（e－f）	232.22	220.17	219.14	213.71	209.85	205.79

（注）✓を付した該当項目から分配金を計上しています。

今後の運用方針

■当ファンド

引き続き、クロッキーＵＳストラテジー・ファンド（豪ドル・クラス）とダイワ・マネー・マザーファンドに投資します。また、クロッキーＵＳストラテジー・ファンド（豪ドル・クラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

■クロッキーＵＳストラテジー・ファンド（豪ドル・クラス）

Ｓ＆Ｐ500種株価指数構成銘柄の時価総額上位半数程度の銘柄からＧＩＣＳ（世界産業分類基準）の金融セクターに属する銘柄を除いた銘柄を投資対象銘柄とし、「クロッキーモデル」を用いて会計データを重点分析し、割安と判断される40銘柄を選定します。選定時における各銘柄の構成比率はおおむね均等とします。個別銘柄ごとに、当該株式を原資産とするコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築します。米ドル売り／豪ドル買いの為替取引を活用して、豪ドルで実質的な運用を行います。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

1万口当りの費用の明細

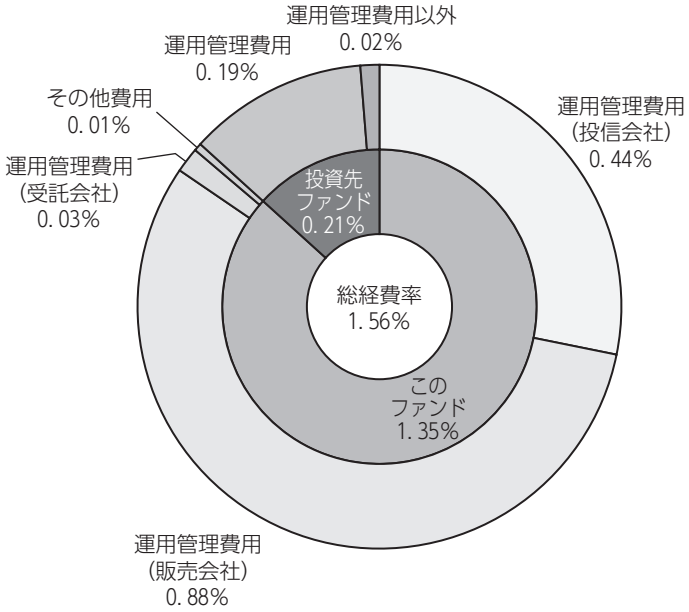
項　目	第102期～第107期 (2020. 3. 10～2020. 9. 7)		項　目　の　概　要
	金　額	比　率	
信　託　報　酬	20円	0. 670%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 **当作成期中の平均基準価額は3, 032円です。**
（投 信 会 社）	(7)	(0. 219)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
（販 売 会 社）	(13)	(0. 438)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受 託 会 社）	(0)	(0. 013)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	―	―	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	―	―	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0. 003	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
（監 査 費 用）	(0)	(0. 003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（そ　の　他）	(0)	(0. 000)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合　　計	20	0. 673	

（注１）当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。
（注２）各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。
（注３）各比率は１万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第３位未満を四捨五入してあります。
（注４）組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「１万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（１口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.56％です。



総経費率　（　①　＋　②　＋　③　）	1.56%
①このファンドの費用の比率	1.35%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.19%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.02%

（注１）①の費用は、１万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
（注２）各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。
（注３）各比率は、年率換算した値です。
（注４）投資先ファンドとは、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。
（注５）①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。
（注６）①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。
（注７）上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■売買および取引の状況
投資信託受益証券

（2020年３月10日から2020年９月７日まで）

決　算　期	第　102　期　～　第　107　期			
	買　付		売　付	
	口　数	金　額	口　数	金　額
	千口	千円	千口	千円
外国（邦貨建）	1, 258. 2543	69, 173	1, 327. 52492	80, 200

（注１）買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。
（注２）金額は受渡し代金。
（注３）金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄
投資信託受益証券

（2020年３月10日から2020年９月７日まで）

第　102　期　～　第　107　期							
買　付				売　付			
銘　柄	口　数	金　額	平均単価	銘　柄	口　数	金　額	平均単価
	千口	千円	円		千口	千円	円
CROCI US STRATEGY FUND AUD CLASS（ケイマン諸島）	186. 34119	10, 000	53	CROCI US STRATEGY FUND AUD CLASS（ケイマン諸島）	1, 327. 52492	80, 200	60

（注１）金額は受渡し代金。
（注２）金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表
(1) ファンド・オブ・ファンズが組み入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	第　107　期　末		
	口　数	評価額	比　率
	千口	千円	%
外国投資信託受益証券 （ケイマン諸島） CROCI US STRATEGY FUND AUD CLASS	18, 851. 07047	1, 222, 378	99. 6

（注１）比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。
（注２）評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種　類	第101期末	第　107　期　末	
	口　数	口　数	評 価 額
	千口	千口	千円
ダイワ・マネー・マザーファンド	643	643	654

（注）単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2020年９月７日現在

項　目	第　107　期　末	
	評　価　額	比　率
	千円	%
投資信託受益証券	1, 222, 378	98. 5
ダイワ・マネー・マザーファンド	654	0. 1
コール・ローン等、その他	18, 267	1. 4
投資信託財産総額	1, 241, 300	100. 0

（注）評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

（2020年４月７日）、（2020年５月７日）、（2020年６月８日）、（2020年７月７日）、（2020年８月７日）、（2020年９月７日）現在

項　　目	第102期末	第103期末	第104期末	第105期末	第106期末	第107期末
（A）資産	**969, 845, 451円**	**1, 044, 155, 364円**	**1, 253, 683, 945円**	**1, 210, 129, 629円**	**1, 243, 956, 565円**	**1, 241, 300, 373円**
コール・ローン等	19, 243, 242	31, 594, 248	25, 868, 235	20, 058, 804	37, 533, 862	18, 267, 431
投資信託受益証券（評価額）	949, 947, 951	1, 011, 906, 858	1, 227, 161, 517	1, 189, 416, 632	1, 205, 768, 574	1, 222, 378, 813
ダイワ・マネー・マザーファンド（評価額）	654, 258	654, 258	654, 193	654, 193	654, 129	654, 129
（B）負債	**12, 067, 993**	**12, 464, 977**	**14, 861, 280**	**12, 933, 800**	**14, 968, 985**	**13, 930, 305**
未払収益分配金	11, 067, 636	11, 060, 125	11, 093, 744	11, 068, 228	11, 019, 372	10, 967, 094
未払解約金	—	244, 568	2, 442, 440	577, 516	2, 526, 925	1, 490, 804
未払信託報酬	994, 276	1, 147, 187	1, 304, 005	1, 259, 276	1, 385, 476	1, 426, 461
その他未払費用	6, 081	13, 097	21, 091	28, 780	37, 212	45, 946
（C）純資産総額（A－B）	**957, 777, 458**	**1, 031, 690, 387**	**1, 238, 822, 665**	**1, 197, 195, 829**	**1, 228, 987, 580**	**1, 227, 370, 068**
元本	3, 689, 212, 191	3, 686, 708, 491	3, 697, 914, 776	3, 689, 409, 623	3, 673, 124, 089	3, 655, 698, 248
次期繰越損益金	△ 2, 731, 434, 733	△ 2, 655, 018, 104	△ 2, 459, 092, 111	△ 2, 492, 213, 794	△ 2, 444, 136, 509	△ 2, 428, 328, 180
（D）受益権総口数	**3, 689, 212, 191口**	**3, 686, 708, 491口**	**3, 697, 914, 776口**	**3, 689, 409, 623口**	**3, 673, 124, 089口**	**3, 655, 698, 248口**
１万口当り基準価額（C／D）	**2, 596円**	**2, 798円**	**3, 350円**	**3, 245円**	**3, 346円**	**3, 357円**

＊第101期末における元本額は3, 694, 659, 326円、当作成期間（第102期～第107期）中における追加設定元本額は95, 827, 013円、同解約元本額は134, 788, 091円です。
＊第107期末の計算口数当りの純資産額は3, 357円です。
＊第107期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は2, 428, 328, 180円です。

■損益の状況

第102期　自 2020年３月10日　至 2020年４月７日
第103期　自 2020年４月８日　至 2020年５月７日
第104期　自 2020年５月８日　至 2020年６月８日
第105期　自 2020年６月９日　至 2020年７月７日
第106期　自 2020年７月８日　至 2020年８月７日
第107期　自 2020年８月８日　至 2020年９月７日

項　　目	第102期	第103期	第104期	第105期	第106期	第107期
（A）配当等収益	**10, 933, 001円**	**6, 705, 214円**	**10, 714, 835円**	**10, 328, 921円**	**9, 875, 336円**	**10, 382, 118円**
受取配当金	10, 933, 758	6, 705, 480	10, 715, 509	10, 329, 362	9, 875, 542	10, 383, 019
受取利息	25	—	—	12	7	1
支払利息	△ 782	△ 266	△ 674	△ 453	△ 213	△ 902
（B）有価証券売買損益	**△ 231, 029, 455**	**80, 003, 955**	**204, 911, 612**	**△ 36, 734, 144**	**39, 607, 162**	**6, 191, 873**
売買益	1, 862, 887	80, 248, 747	205, 487, 287	351, 055	39, 655, 856	6, 213, 036
売買損	△ 232, 892, 342	△ 244, 792	△ 575, 675	△ 37, 085, 199	△ 48, 694	△ 21, 163
（C）信託報酬等	**△ 1, 000, 357**	**△ 1, 154, 203**	**△ 1, 312, 006**	**△ 1, 266, 974**	**△ 1, 393, 944**	**△ 1, 435, 195**
（D）当期損益金（A＋B＋C）	**△ 221, 096, 811**	**85, 554, 966**	**214, 314, 441**	**△ 27, 672, 197**	**48, 088, 554**	**15, 138, 796**
（E）前期繰越損益金	**△ 1, 558, 343, 330**	**△ 1, 783, 500, 513**	**△ 1, 694, 449, 348**	**△ 1, 484, 176, 181**	**△ 1, 510, 963, 239**	**△ 1, 460, 554, 879**
（F）追加信託差損益金	**△ 940, 926, 956**	**△ 946, 012, 432**	**△ 967, 863, 460**	**△ 969, 297, 188**	**△ 970, 242, 452**	**△ 971, 945, 003**
（配当等相当額）	(86, 806, 195)	(85, 615, 519)	(81, 481, 244)	(80, 854, 160)	(78, 502, 823)	(76, 717, 217)
（売買損益相当額）	(△ 1, 027, 733, 151)	(△ 1, 031, 627, 951)	(△ 1, 049, 344, 704)	(△ 1, 050, 151, 348)	(△ 1, 048, 745, 275)	(△ 1, 048, 662, 220)
（G）合計（D＋E＋F）	**△ 2, 720, 367, 097**	**△ 2, 643, 957, 979**	**△ 2, 447, 998, 367**	**△ 2, 481, 145, 566**	**△ 2, 433, 117, 137**	**△ 2, 417, 361, 086**
（H）収益分配金	**△ 11, 067, 636**	**△ 11, 060, 125**	**△ 11, 093, 744**	**△ 11, 068, 228**	**△ 11, 019, 372**	**△ 10, 967, 094**
次期繰越損益金（G＋H）	**△ 2, 731, 434, 733**	**△ 2, 655, 018, 104**	**△ 2, 459, 092, 111**	**△ 2, 492, 213, 794**	**△ 2, 444, 136, 509**	**△ 2, 428, 328, 180**
追加信託差損益金	△ 942, 061, 966	△ 950, 456, 581	△ 968, 307, 603	△ 971, 303, 487	△ 971, 664, 732	△ 973, 429, 007
（配当等相当額）	(85, 671, 185)	(81, 171, 370)	(81, 037, 101)	(78, 847, 861)	(77, 080, 543)	(75, 233, 213)
（売買損益相当額）	(△ 1, 027, 733, 151)	(△ 1, 031, 627, 951)	(△ 1, 049, 344, 704)	(△ 1, 050, 151, 348)	(△ 1, 048, 745, 275)	(△ 1, 048, 662, 220)
繰越損益金	△ 1, 789, 372, 767	△ 1, 704, 561, 523	△ 1, 490, 784, 508	△ 1, 520, 910, 307	△ 1, 472, 471, 777	△ 1, 454, 899, 173

（注１）信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。
（注２）追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。
（注３）収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項　　目	第102期	第103期	第104期	第105期	第106期	第107期
(a) 経費控除後の配当等収益	9, 932, 626円	6, 615, 976円	10, 649, 601円	9, 061, 929円	9, 597, 092円	9, 483, 090円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	86, 806, 195	85, 615, 519	81, 481, 244	80, 854, 160	78, 502, 823	76, 717, 217
(d) 分配準備積立金	0	0	0	0	0	0
(e) 当期分配対象額（a＋b＋c＋d）	96, 738, 821	92, 231, 495	92, 130, 845	89, 916, 089	88, 099, 915	86, 200, 307
(f) 分配金	11, 067, 636	11, 060, 125	11, 093, 744	11, 068, 228	11, 019, 372	10, 967, 094
(g) 翌期繰越分配対象額（e－f）	85, 671, 185	81, 171, 370	81, 037, 101	78, 847, 861	77, 080, 543	75, 233, 213
(h) 受益権総口数	3, 689, 212, 191口	3, 686, 708, 491口	3, 697, 914, 776口	3, 689, 409, 623口	3, 673, 124, 089口	3, 655, 698, 248口

収　益　分　配　金　の　お　知　ら　せ						
1万口当り分配金	第102期	第103期	第104期	第105期	第106期	第107期
	30円	30円	30円	30円	30円	30円

●〈分配金再投資コース〉をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

ブラジル・レアル・コース（毎月分配型）

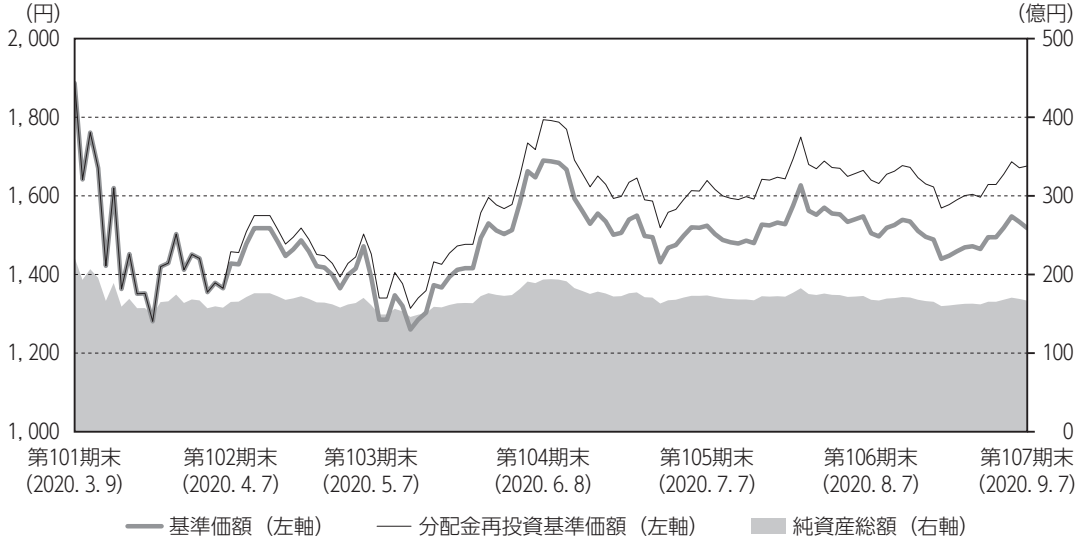
最近30期の運用実績

決算期	基準価額			S＆P500指数（米ドルベース）		ブラジル・レアル為替レート		公社債組入比率	投資信託受益証券組入比率	純資産総額
	（分配落）	税込み分配金	期中騰落率	（参考指数）	期中騰落率	（参考指数）	期中騰落率			
	円	円	%		%	円	%	%	%	百万円
78期末（2018年4月9日）	3,656	70	△ 7.5	22,322	△ 4.5	31.72	△ 3.6	—	98.4	65,309
79期末（2018年5月7日）	3,492	70	△ 2.6	22,827	2.3	30.88	△ 2.6	—	98.9	61,812
80期末（2018年6月7日）	3,321	70	△ 2.9	23,761	4.1	28.60	△ 7.4	—	98.8	57,864
81期末（2018年7月9日）	3,165	70	△ 2.6	23,654	△ 0.5	28.60	0.0	0.0	99.0	54,364
82期末（2018年8月7日）	3,391	70	9.4	24,430	3.3	29.79	4.2	0.0	98.7	57,499
83期末（2018年9月7日）	2,983	45	△ 10.7	24,667	1.0	27.24	△ 8.6	—	98.8	49,956
84期末（2018年10月9日）	3,251	45	10.5	24,722	0.2	29.90	9.8	—	98.7	52,730
85期末（2018年11月7日）	3,178	45	△ 0.9	23,616	△ 4.5	30.05	0.5	—	98.5	50,527
86期末（2018年12月7日）	2,955	45	△ 5.6	23,106	△ 2.2	29.04	△ 3.4	—	98.7	46,211
87期末（2019年1月7日）	2,772	45	△ 4.7	21,701	△ 6.1	29.20	0.6	—	98.5	42,621
88期末（2019年2月7日）	2,991	45	9.5	23,412	7.9	29.69	1.7	—	98.6	45,520
89期末（2019年3月7日）	2,940	45	△ 0.2	23,753	1.5	29.08	△ 2.1	0.0	98.5	44,116
90期末（2019年4月8日）	2,944	45	1.7	24,793	4.4	28.77	△ 1.1	—	98.7	43,159
91期末（2019年5月7日）	2,838	30	△ 2.6	25,133	1.4	27.90	△ 3.0	—	98.8	41,244
92期末（2019年6月7日）	2,580	30	△ 8.0	24,371	△ 3.0	27.95	0.2	—	98.6	35,761
93期末（2019年7月8日）	2,726	30	6.8	25,630	5.2	28.40	1.6	—	98.7	36,759
94期末（2019年8月7日）	2,457	30	△ 8.8	24,699	△ 3.6	26.79	△ 5.7	—	98.2	32,528
95期末（2019年9月9日）	2,461	30	1.4	25,530	3.4	26.33	△ 1.7	—	98.6	32,197
96期末（2019年10月7日）	2,409	30	△ 0.9	25,301	△ 0.9	26.31	△ 0.1	—	98.6	31,119
97期末（2019年11月7日）	2,618	30	9.9	26,370	4.2	26.73	1.6	—	98.3	33,040
98期末（2019年12月9日）	2,541	30	△ 1.8	26,963	2.2	26.23	△ 1.9	—	98.0	31,542
99期末（2020年1月7日）	2,624	30	4.4	27,823	3.2	26.67	1.7	—	98.0	31,574
100期末（2020年2月7日）	2,483	30	△ 4.2	28,676	3.1	25.66	△ 3.8	—	98.4	29,418
101期末（2020年3月9日）	1,887	30	△ 22.8	25,475	△ 11.2	22.05	△ 14.1	—	98.1	22,140
102期末（2020年4月7日）	1,428	30	△ 22.7	22,830	△ 10.4	20.65	△ 6.3	—	98.7	16,512
103期末（2020年5月7日）	1,392	30	△ 0.4	24,413	6.9	18.59	△ 10.0	—	98.5	16,092
104期末（2020年6月8日）	1,690	30	23.6	27,374	12.1	22.07	18.7	—	98.7	19,360
105期末（2020年7月7日）	1,524	20	△ 8.6	27,253	△ 0.4	20.04	△ 9.2	—	98.8	17,338
106期末（2020年8月7日）	1,505	20	0.1	28,705	5.3	19.80	△ 1.2	—	98.0	16,786
107期末（2020年9月7日）	1,518	20	2.2	29,372	2.3	20.06	1.3	—	98.4	16,676

（注1）基準価額の騰落率は分配金込み。
（注2）S＆P500指数（米ドルベース）は、S＆P500指数（米ドルベース）の原データをもとに、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。S＆P500指数（米ドルベース）の所有権およびその他一切の権利は、S＆P Dow Jones Indices LLCが有しています。S＆P Dow Jones Indices LLCは、同指数の算出にかかる誤謬等に関し、いかなる者に対しても責任を負うものではありません。
（注3）海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。
（注4）為替レートは、計算日における対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートを採用しています。
（注5）指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。
（注6）公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。
（注7）公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。

運用経過

基準価額等の推移について



＊分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

＊分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

■基準価額・騰落率

第102期首：1,887円
第107期末：1,518円（既払分配金150円）
騰　落　率：△11.2%（分配金再投資ベース）

■基準価額の主な変動要因

クロッキーＵＳストラテジー・ファンド（ブラジル・レアル・クラス）とダイワ・マネー・マザーファンドに投資した結果、クロッキーＵＳストラテジー・ファンド（ブラジル・レアル・クラス）の下落がマイナス要因となり、基準価額は下落しました。クロッキーＵＳストラテジー・ファンド（ブラジル・レアル・クラス）については、米国の株式とオプション取引を組み合わせたカバードコール戦略を構築するとともに、米ドル売り／ブラジル・レアル買いの為替取引を活用した結果、「クロッキーモデル」によって選定された銘柄で構築する株式ポートフォリオが上昇したことや為替取引によるプレミアム（金利差相当分の収益）がプラス要因となったものの、オプション取引戦略やブラジル・レアルが対円で下落（円高）したことがマイナス要因となりました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

※クロッキーＵＳストラテジー・ファンド（ブラジル・レアル・クラス）：オージェンタム・トラスト－クロッキーＵＳストラテジー・ファンド（ブラジル・レアル・クラス）

ダイワ米国株ストラテジーα（通貨選択型）－トリプルリターンズ－ ブラジル・レアル・コース（毎月分配型）

	年　月　日	基準価額		S＆P500指数（米ドルベース）		ブラジル・レアル為替レート		公社債組入比率	投資信託受益証券組入比率
			騰落率	（参考指数）	騰落率	（参考指数）	騰落率		
		円	%		%	円	%	%	%
第102期	（期首）2020年3月9日	1,887	—	25,475	—	22.05	—	—	98.1
	3月末	1,451	△23.1	22,512	△11.6	20.92	△ 5.1	—	98.7
	（期末）2020年4月7日	1,458	△22.7	22,830	△10.4	20.65	△ 6.3	—	98.7
第103期	（期首）2020年4月7日	1,428	—	22,830	—	20.65	—	—	98.7
	4月末	1,415	△ 0.9	25,194	10.4	20.01	△ 3.1	—	96.2
	（期末）2020年5月7日	1,422	△ 0.4	24,413	6.9	18.59	△10.0	—	98.5
第104期	（期首）2020年5月7日	1,392	—	24,413	—	18.59	—	—	98.5
	5月末	1,512	8.6	25,967	6.4	19.87	6.9	—	99.0
	（期末）2020年6月8日	1,720	23.6	27,374	12.1	22.07	18.7	—	98.7
第105期	（期首）2020年6月8日	1,690	—	27,374	—	22.07	—	—	98.7
	6月末	1,468	△13.1	26,169	△ 4.4	19.93	△ 9.7	—	99.2
	（期末）2020年7月7日	1,544	△ 8.6	27,253	△ 0.4	20.04	△ 9.2	—	98.8
第106期	（期首）2020年7月7日	1,524	—	27,253	—	20.04	—	—	98.8
	7月末	1,555	2.0	27,823	2.1	20.28	1.2	—	99.4
	（期末）2020年8月7日	1,525	0.1	28,705	5.3	19.80	△ 1.2	—	98.0
第107期	（期首）2020年8月7日	1,505	—	28,705	—	19.80	—	—	98.0
	8月末	1,495	△ 0.7	30,066	4.7	19.55	△ 1.3	—	98.9
	（期末）2020年9月7日	1,538	2.2	29,372	2.3	20.06	1.3	—	98.4

（注）期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

（2020. 3. 10 ～ 2020. 9. 7）

■米国株式市況

米国株式市場は上昇しました。

米国株式市況は、当作成期首より、新型コロナウイルスによる世界経済停滞への懸念が広がり、下落しました。しかし、新型コロナウイルス感染率の低下やグローバルスケールでの投資家のポジショニングの転換、大規模な財政出動により、2020年３月下旬で株式相場は底を打ち上昇に転じ、当作成期末にかけて上昇基調が継続しました。

■為替相場

ブラジル・レアルは対円で下落しました。

当作成期首から、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大の中でブラジル国内の感染拡大や投資家による新興国全般への投資家心理の悪化を受けて、ブラジル・レアルは下落しました。その後、世界的な経済活動の再開や資源価格の復調などを背景に、2020年６月初旬にかけていったん持ち直したものの、景気の先行き不透明感を背景に、当作成期末にかけて軟調に推移しました。

■短期金利市況

ブラジルの短期金利は、ブラジル中央銀行が政策金利を4. 25％から2. 00％に引き下げました。一方、米国の短期金利は、ＦＲＢ（米国連邦準備制度理事会）がＦＯＭＣ（米国連邦公開市場委員会）で政策金利の誘導目標レンジを1. 00～1. 25％から0～0. 25％に引き下げました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

引き続き、クロッキーＵＳストラテジー・ファンド（ブラジル・レアル・クラス）とダイワ・マネー・マザーファンドに投資します。また、クロッキーＵＳストラテジー・ファンド（ブラジル・レアル・クラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

■クロッキーＵＳストラテジー・ファンド（ブラジル・レアル・クラス）

Ｓ＆Ｐ500種株価指数構成銘柄の時価総額上位半数程度の銘柄からＧＩＣＳ（世界産業分類基準）の金融セクターに属する銘柄を除いた銘柄を投資対象銘柄とし、「クロッキーモデル」を用いて会計データを重点分析し、割安と判断される40銘柄を選定します。選定時における各銘柄の構成比率はおおむね均等とします。個別銘柄ごとに、当該株式を原資産とするコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築します。米ドル売り／ブラジル・レアル買いの為替取引を活用して、ブラジル・レアルで実質的な運用を行います。

■ダイワ・マネー・マザーファンド
流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

ポートフォリオについて （2020. 3. 10 ～ 2020. 9. 7）

■当ファンド
当ファンドは、クロッキーＵＳストラテジー・ファンド（ブラジル・レアル・クラス）とダイワ・マネー・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズであり、当作成期を通じてクロッキーＵＳストラテジー・ファンド（ブラジル・レアル・クラス）とダイワ・マネー・マザーファンドに投資しました。また、クロッキーＵＳストラテジー・ファンド（ブラジル・レアル・クラス）への投資割合を高位に維持しました。

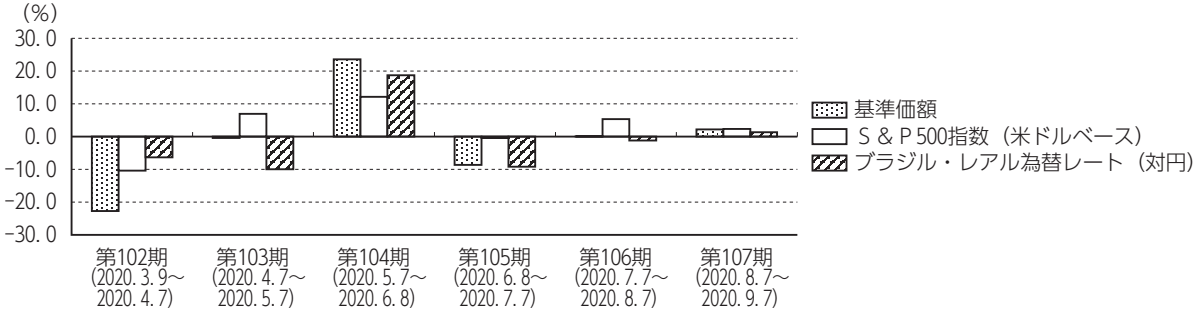
■クロッキーＵＳストラテジー・ファンド（ブラジル・レアル・クラス）
Ｓ＆Ｐ500種株価指数構成銘柄の時価総額上位半数程度の銘柄からＧＩＣＳ（世界産業分類基準）の金融セクターに属する銘柄を除いた銘柄を投資対象銘柄とし、「クロッキーモデル」を用いて会計データを重点分析し、割安と判断される40銘柄を選定しました。選定時における各銘柄の構成比率はおおむね均等としました。個別銘柄ごとに、当該株式を原資産とするコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築しました。米ドル売り／ブラジル・レアル買いの為替取引を活用して、ブラジル・レアルで実質的な運用を行いました。

■ダイワ・マネー・マザーファンド
流動性や資産の安全性に配慮し、現先取引やコール・ローン等による運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。当ファンドはカバードコール戦略を構築していますので、オプション取引要因は参考指数との差異の要因に含まれます。



分配金について

当作成期の１万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（１万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（１万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（１万口当り）

項　　目	第102期 2020年３月10日 ～2020年４月７日	第103期 2020年４月８日 ～2020年５月７日	第104期 2020年５月８日 ～2020年６月８日	第105期 2020年６月９日 ～2020年７月７日	第106期 2020年７月８日 ～2020年８月７日	第107期 2020年８月８日 ～2020年９月７日
当期分配金(税込み)（円）	**30**	**30**	**30**	**20**	**20**	**20**
対基準価額比率（%）	2.06	2.11	1.74	1.30	1.31	1.30
当期の収益　　（円）	22	11	19	15	13	14
当期の収益以外（円）	7	18	10	4	6	5
翌期繰越分配対象額（円）	1,127	1,108	1,098	1,093	1,086	1,081

（注１）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
（注２）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。
（注３）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

■収益分配金の計算過程（１万口当り）

項　　目	第102期	第103期	第104期	第105期	第106期	第107期
（a）経費控除後の配当等収益	✓ 22.45円	✓ 11.58円	✓ 19.35円	✓ 15.18円	✓ 13.13円	✓ 14.90円
（b）経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
（c）収益調整金	✓ 1,134.66	✓ 1,127.12	✓ 1,108.72	✓ 1,098.09	✓ 1,093.27	✓ 1,086.41
（d）分配準備積立金	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
（e）当期分配対象額（a+b+c+d）	1,157.12	1,138.71	1,128.08	1,113.27	1,106.40	1,101.31
（f）分配金	30.00	30.00	30.00	20.00	20.00	20.00
（g）翌期繰越分配対象額（e－f）	1,127.12	1,108.71	1,098.08	1,093.27	1,086.40	1,081.31

（注）✓を付した該当項目から分配金を計上しています。

今後の運用方針

■当ファンド

引き続き、クロッキーＵＳストラテジー・ファンド（ブラジル・レアル・クラス）とダイワ・マネー・マザーファンドに投資します。また、クロッキーＵＳストラテジー・ファンド（ブラジル・レアル・クラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

■クロッキーＵＳストラテジー・ファンド（ブラジル・レアル・クラス）

Ｓ＆Ｐ500種株価指数構成銘柄の時価総額上位半数程度の銘柄からＧＩＣＳ（世界産業分類基準）の金融セクターに属する銘柄を除いた銘柄を投資対象銘柄とし、「クロッキーモデル」を用いて会計データを重点分析し、割安と判断される40銘柄を選定します。選定時における各銘柄の構成比率はおおむね均等とします。個別銘柄ごとに、当該株式を原資産とするコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築します。米ドル売り／ブラジル・レアル買いの為替取引を活用して、ブラジル・レアルで実質的な運用を行います。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

1万口当りの費用の明細

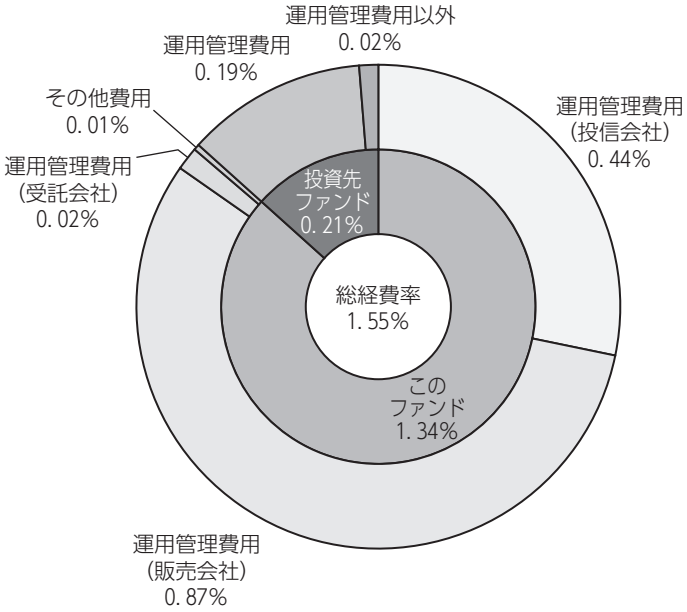
項　目	第102期～第107期 (2020. 3. 10～2020. 9. 7)		項　目　の　概　要
	金　額	比　率	
信　託　報　酬	10円	0. 666%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 **当作成期中の平均基準価額は1, 485円です。**
（投信会社）	(3)	(0. 218)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
（販売会社）	(6)	(0. 436)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	(0)	(0. 012)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0. 003	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
（監査費用）	(0)	(0. 003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（そ　の　他）	(0)	(0. 000)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合　　計	10	0. 669	

（注１）当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。
（注２）各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。
（注３）各比率は１万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第３位未満を四捨五入してあります。
（注４）組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「１万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（１口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.55％です。



総経費率　（　①　＋　②　＋　③　）	1.55%
①このファンドの費用の比率	1.34%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.19%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.02%

（注１）①の費用は、１万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
（注２）各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。
（注３）各比率は、年率換算した値です。
（注４）投資先ファンドとは、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。
（注５）①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。
（注６）①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。
（注７）上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■売買および取引の状況
投資信託受益証券

（2020年３月10日から2020年９月７日まで）

決　算　期	第　102　期　～　第　107　期			
	買　付		売　付	
	口　数	金　額	口　数	金　額
	千口	千円	千口	千円
外国（邦貨建）	52,617.7	1,193,316	114,454.44967	2,769,300

（注１）買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。
（注２）金額は受渡し代金。
（注３）金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄
投資信託受益証券

（2020年３月10日から2020年９月７日まで）

第　102　期　～　第　107　期							
買　付				売　付			
銘　柄	口　数	金　額	平均単価	銘　柄	口　数	金　額	平均単価
	千口	千円	円		千口	千円	円
				CROCI US STRATEGY FUND BRL CLASS（ケイマン諸島）	114,454.44967	2,769,300	24

（注１）金額は受渡し代金。
（注２）金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表
(1) ファンド・オブ・ファンズが組み入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	第　107　期　末		
	口　数	評価額	比　率
	千口	千円	%
外国投資信託受益証券 （ケイマン諸島） CROCI US STRATEGY FUND BRL CLASS	655,246.47299	16,402,784	98.4

（注１）比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。
（注２）評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種　類	第101期末	第　107　期　末	
	口　数	口　数	評 価 額
	千口	千口	千円
ダイワ・マネー・マザーファンド	4,401	4,401	4,476

（注）単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2020年９月７日現在

項　目	第　107　期　末	
	評　価　額	比　率
	千円	%
投資信託受益証券	16,402,784	96.4
ダイワ・マネー・マザーファンド	4,476	0.0
コール・ローン等、その他	611,238	3.6
投資信託財産総額	17,018,500	100.0

（注）評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

（2020年４月７日）、（2020年５月７日）、（2020年６月８日）、（2020年７月７日）、（2020年８月７日）、（2020年９月７日）現在

項　　目	第102期末	第103期末	第104期末	第105期末	第106期末	第107期末
（A）資産	**16, 914, 485, 036円**	**16, 482, 270, 055円**	**19, 954, 382, 377円**	**17, 602, 460, 883円**	**17, 076, 876, 315円**	**17, 018, 500, 401円**
コール・ローン等	619, 482, 035	633, 179, 600	480, 324, 229	476, 322, 808	617, 531, 489	611, 238, 563
投資信託受益証券（評価額）	16, 290, 525, 241	15, 844, 612, 695	19, 113, 580, 828	17, 121, 660, 755	16, 454, 867, 946	16, 402, 784, 958
ダイワ・マネー・マザーファンド（評価額）	4, 477, 760	4, 477, 760	4, 477, 320	4, 477, 320	4, 476, 880	4, 476, 880
未収入金	—	—	356, 000, 000	—	—	—
（B）負債	**402, 083, 063**	**390, 023, 203**	**593, 992, 235**	**264, 456, 426**	**289, 963, 076**	**342, 026, 691**
未払金	—	—	178, 000, 000	—	—	—
未払収益分配金	346, 911, 134	346, 738, 542	343, 644, 511	227, 535, 043	223, 046, 928	219, 787, 732
未払解約金	36, 913, 400	24, 396, 442	52, 568, 261	17, 577, 805	46, 543, 433	102, 522, 196
未払信託報酬	18, 147, 349	18, 662, 465	19, 434, 241	18, 883, 087	19, 791, 658	19, 018, 736
その他未払費用	111, 180	225, 754	345, 222	460, 491	581, 057	698, 027
（C）純資産総額（A－B）	**16, 512, 401, 973**	**16, 092, 246, 852**	**19, 360, 390, 142**	**17, 338, 004, 457**	**16, 786, 913, 239**	**16, 676, 473, 710**
元本	115, 637, 044, 957	115, 579, 514, 060	114, 548, 170, 652	113, 767, 521, 753	111, 523, 464, 105	109, 893, 866, 428
次期繰越損益金	△ 99, 124, 642, 984	△ 99, 487, 267, 208	△ 95, 187, 780, 510	△ 96, 429, 517, 296	△ 94, 736, 550, 866	△ 93, 217, 392, 718
（D）受益権総口数	**115, 637, 044, 957口**	**115, 579, 514, 060口**	**114, 548, 170, 652口**	**113, 767, 521, 753口**	**111, 523, 464, 105口**	**109, 893, 866, 428口**
１万口当り基準価額（C／D）	**1, 428円**	**1, 392円**	**1, 690円**	**1, 524円**	**1, 505円**	**1, 518円**

＊第101期末における元本額は117, 333, 887, 835円、当作成期間（第102期～第107期）中における追加設定元本額は3, 032, 048, 760円、同解約元本額は10, 472, 070, 167円です。
＊第107期末の計算口数当りの純資産額は1, 518円です。
＊第107期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は93, 217, 392, 718円です。

■損益の状況

第102期　自 2020年３月10日　至 2020年４月７日
第103期　自 2020年４月８日　至 2020年５月７日
第104期　自 2020年５月８日　至 2020年６月８日
第105期　自 2020年６月９日　至 2020年７月７日
第106期　自 2020年７月８日　至 2020年８月７日
第107期　自 2020年８月８日　至 2020年９月７日

項　　目	第102期	第103期	第104期	第105期	第106期	第107期
（A）配当等収益	**277, 920, 237円**	**152, 651, 547円**	**222, 892, 553円**	**191, 708, 313円**	**166, 393, 216円**	**172, 666, 788円**
受取配当金	277, 934, 903	152, 661, 127	222, 904, 055	191, 717, 724	166, 398, 812	172, 680, 030
受取利息	337	6	1	195	200	32
支払利息	△ 15, 003	△ 9, 586	△ 11, 503	△ 9, 606	△ 5, 796	△ 13, 274
（B）有価証券売買損益	**△ 5, 216, 726, 429**	**△ 199, 507, 208**	**3, 550, 881, 786**	**△ 1, 834, 810, 465**	**△ 132, 552, 625**	**201, 190, 601**
売買益	83, 956, 446	594, 601	3, 564, 351, 251	19, 117, 279	6, 512, 815	201, 270, 712
売買損	△ 5, 300, 682, 875	△ 200, 101, 809	△ 13, 469, 465	△ 1, 853, 927, 744	△ 139, 065, 440	△ 80, 111
（C）信託報酬等	**△ 18, 258, 529**	**△ 18, 777, 039**	**△ 19, 553, 798**	**△ 18, 998, 684**	**△ 19, 912, 815**	**△ 19, 135, 706**
（D）当期損益金（A＋B＋C）	**△ 4, 957, 064, 721**	**△ 65, 632, 700**	**3, 754, 220, 541**	**△ 1, 662, 100, 836**	**13, 927, 776**	**354, 721, 683**
（E）前期繰越損益金	**△ 55, 676, 769, 337**	**△ 60, 534, 410, 108**	**△ 59, 841, 272, 252**	**△ 55, 679, 703, 924**	**△ 56, 196, 400, 829**	**△ 55, 317, 897, 013**
（F）追加信託差損益金	**△ 38, 143, 897, 792**	**△ 38, 540, 485, 858**	**△ 38, 757, 084, 288**	**△ 38, 860, 177, 493**	**△ 38, 331, 030, 885**	**△ 38, 034, 429, 656**
（配当等相当額）	(13, 120, 979, 329)	(13, 027, 281, 103)	(12, 700, 275, 849)	(12, 492, 711, 365)	(12, 192, 574, 449)	(11, 938, 996, 531)
（売買損益相当額）	(△ 51, 264, 877, 121)	(△ 51, 567, 766, 961)	(△ 51, 457, 360, 137)	(△ 51, 352, 888, 858)	(△ 50, 523, 605, 334)	(△ 49, 973, 426, 187)
（G）合計（D＋E＋F）	**△ 98, 777, 731, 850**	**△ 99, 140, 528, 666**	**△ 94, 844, 135, 999**	**△ 96, 201, 982, 253**	**△ 94, 513, 503, 938**	**△ 92, 997, 604, 986**
（H）収益分配金	**△ 346, 911, 134**	**△ 346, 738, 542**	**△ 343, 644, 511**	**△ 227, 535, 043**	**△ 223, 046, 928**	**△ 219, 787, 732**
次期繰越損益金（G＋H）	**△ 99, 124, 642, 984**	**△ 99, 487, 267, 208**	**△ 95, 187, 780, 510**	**△ 96, 429, 517, 296**	**△ 94, 736, 550, 866**	**△ 93, 217, 392, 718**
追加信託差損益金	△ 38, 231, 147, 370	△ 38, 753, 350, 045	△ 38, 878, 992, 065	△ 38, 915, 003, 059	△ 38, 407, 597, 525	△ 38, 090, 389, 554
（配当等相当額）	(13, 033, 729, 751)	(12, 814, 416, 916)	(12, 578, 368, 072)	(12, 437, 885, 799)	(12, 116, 007, 809)	(11, 883, 036, 633)
（売買損益相当額）	(△ 51, 264, 877, 121)	(△ 51, 567, 766, 961)	(△ 51, 457, 360, 137)	(△ 51, 352, 888, 858)	(△ 50, 523, 605, 334)	(△ 49, 973, 426, 187)
繰越損益金	△ 60, 893, 495, 614	△ 60, 733, 917, 163	△ 56, 308, 788, 445	△ 57, 514, 514, 237	△ 56, 328, 953, 341	△ 55, 127, 003, 164

（注１）信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。
（注２）追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。
（注３）収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項　　目	第102期	第103期	第104期	第105期	第106期	第107期
(a) 経費控除後の配当等収益	259,661,556円	133,874,355円	221,736,734円	172,709,477円	146,480,288円	163,827,834円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	13,120,979,329	13,027,281,103	12,700,275,849	12,492,711,365	12,192,574,449	11,938,996,531
(d) 分配準備積立金	0	0	0	0	0	0
(e) 当期分配対象額（a＋b＋c＋d）	13,380,640,885	13,161,155,458	12,922,012,583	12,665,420,842	12,339,054,737	12,102,824,365
(f) 分配金	346,911,134	346,738,542	343,644,511	227,535,043	223,046,928	219,787,732
(g) 翌期繰越分配対象額（e－f）	13,033,729,751	12,814,416,916	12,578,368,072	12,437,885,799	12,116,007,809	11,883,036,633
(h) 受益権総口数	115,637,044,957口	115,579,514,060口	114,548,170,652口	113,767,521,753口	111,523,464,105口	109,893,866,428口

収　益　分　配　金　の　お　知　ら　せ						
1万口当り分配金	第102期	第103期	第104期	第105期	第106期	第107期
	30円	30円	30円	20円	20円	20円

●〈分配金再投資コース〉をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

米ドル・コース（毎月分配型）

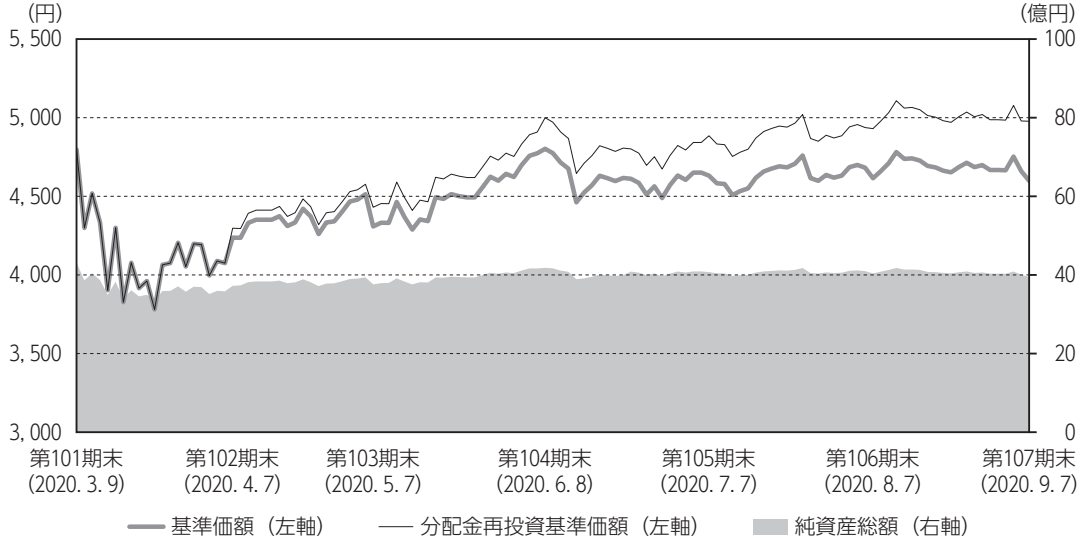
最近30期の運用実績

決算期	基準価額			S＆P500指数（円換算）		公社債組入比率	投資信託受益証券組入比率	純資産総額
	（分配落）	税込み分配金	期中騰落率	（参考指数）	期中騰落率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
78期末（2018年4月9日）	6,758	140	△ 3.4	31,082	△ 3.4	—	98.5	9,050
79期末（2018年5月7日）	6,773	140	2.3	32,405	4.3	—	99.1	8,996
80期末（2018年6月7日）	6,929	140	4.4	34,105	5.2	—	98.5	9,309
81期末（2018年7月9日）	6,743	140	△ 0.7	34,052	△ 0.2	0.0	98.5	8,794
82期末（2018年8月7日）	6,860	140	3.8	35,434	4.1	0.0	98.4	8,954
83期末（2018年9月7日）	6,736	90	△ 0.5	35,517	0.2	—	98.4	8,765
84期末（2018年10月9日）	6,835	90	2.8	36,388	2.5	—	98.8	8,553
85期末（2018年11月7日）	6,427	90	△ 4.7	34,817	△ 4.3	—	98.6	7,998
86期末（2018年12月7日）	6,222	90	△ 1.8	33,956	△ 2.5	—	98.8	7,601
87期末（2019年1月7日）	5,572	90	△ 9.0	30,683	△ 9.6	—	98.9	6,786
88期末（2019年2月7日）	5,984	90	9.0	33,536	9.3	—	98.9	7,241
89期末（2019年3月7日）	6,003	90	1.8	34,561	3.1	0.0	98.6	7,055
90期末（2019年4月8日）	6,145	90	3.9	35,999	4.2	—	98.9	7,120
91期末（2019年5月7日）	6,006	60	△ 1.3	36,248	0.7	—	98.7	6,950
92期末（2019年6月7日）	5,387	60	△ 9.3	34,459	△ 4.9	—	98.7	5,926
93期末（2019年7月8日）	5,619	60	5.4	36,246	5.2	—	98.7	6,029
94期末（2019年8月7日）	5,270	60	△ 5.1	34,167	△ 5.7	—	98.4	5,530
95期末（2019年9月9日）	5,413	60	3.9	35,575	4.1	—	98.4	5,509
96期末（2019年10月7日）	5,291	60	△ 1.1	35,187	△ 1.1	—	98.2	5,315
97期末（2019年11月7日）	5,750	60	9.8	37,430	6.4	—	98.7	5,591
98期末（2019年12月9日）	5,745	60	1.0	38,152	1.9	—	98.0	5,384
99期末（2020年1月7日）	5,778	60	1.6	39,311	3.0	—	97.7	5,390
100期末（2020年2月7日）	5,765	60	0.8	41,069	4.5	—	98.3	5,308
101期末（2020年3月9日）	4,797	60	△ 15.8	33,860	△ 17.6	—	98.1	4,316
102期末（2020年4月7日）	4,237	60	△ 10.4	32,452	△ 4.2	—	99.0	3,723
103期末（2020年5月7日）	4,309	60	3.1	33,803	4.2	—	98.6	3,760
104期末（2020年6月8日）	4,803	60	12.9	39,048	15.5	—	99.3	4,181
105期末（2020年7月7日）	4,632	60	△ 2.3	38,100	△ 2.4	—	98.7	4,072
106期末（2020年8月7日）	4,615	60	0.9	39,491	3.7	—	98.0	4,038
107期末（2020年9月7日）	4,599	60	1.0	40,703	3.1	—	98.2	3,947

（注1）基準価額の騰落率は分配金込み。
（注2）S＆P500指数（円換算）は、S＆P500指数（米ドルベース）をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。S＆P500指数（米ドルベース）の所有権およびその他一切の権利は、S＆P Dow Jones Indices LLCが有しています。S＆P Dow Jones Indices LLCは、同指数の算出にかかる誤謬等に関し、いかなる者に対しても責任を負うものではありません。
（注3）海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。
（注4）指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。
（注5）公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。
（注6）公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。

運用経過

基準価額等の推移について



＊分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
＊分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

■基準価額・騰落率

第102期首：4,797円
第107期末：4,599円（既払分配金360円）
騰　落　率：3.8%（分配金再投資ベース）

■基準価額の主な変動要因

クロッキーＵＳストラテジー・ファンド（米ドル・クラス）とダイワ・マネー・マザーファンドに投資した結果、クロッキーＵＳストラテジー・ファンド（米ドル・クラス）の上昇がプラス要因となり、基準価額は上昇しました。クロッキーＵＳストラテジー・ファンド（米ドル・クラス）については、米国の株式とオプション取引を組み合わせたカバードコール戦略を構築した結果、「クロッキーモデル」によって選定された銘柄で構築する株式ポートフォリオが上昇したことや米ドルが対円で小幅上昇（円安）したことがプラス要因となった一方、オプション取引戦略はマイナス要因となりました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

※クロッキーＵＳストラテジー・ファンド（米ドル・クラス）：オージェンタム・トラストークロッキーＵＳストラテジー・ファンド（米ドル・クラス）

	年　月　日	基準価額		S＆P500指数（円換算）		公社債組入比率	投資信託受益証券組入比率
			騰落率	（参考指数）	騰落率		
		円	%		%	%	%
第102期	（期首）2020年3月9日	4,797	—	33,860	—	—	98.1
	3月末	4,198	△ 12.5	31,922	△ 5.7	—	97.2
	（期末）2020年4月7日	4,297	△ 10.4	32,452	△ 4.2	—	99.0
第103期	（期首）2020年4月7日	4,237	—	32,452	—	—	99.0
	4月末	4,479	5.7	35,081	8.1	—	97.3
	（期末）2020年5月7日	4,369	3.1	33,803	4.2	—	98.6
第104期	（期首）2020年5月7日	4,309	—	33,803	—	—	98.6
	5月末	4,600	6.8	36,381	7.6	—	99.3
	（期末）2020年6月8日	4,863	12.9	39,048	15.5	—	99.3
第105期	（期首）2020年6月8日	4,803	—	39,048	—	—	99.3
	6月末	4,572	△ 4.8	36,735	△ 5.9	—	99.0
	（期末）2020年7月7日	4,692	△ 2.3	38,100	△ 2.4	—	98.7
第106期	（期首）2020年7月7日	4,632	—	38,100	—	—	98.7
	7月末	4,619	△ 0.3	37,918	△ 0.5	—	99.1
	（期末）2020年8月7日	4,675	0.9	39,491	3.7	—	98.0
第107期	（期首）2020年8月7日	4,615	—	39,491	—	—	98.0
	8月末	4,668	1.1	41,274	4.5	—	99.4
	（期末）2020年9月7日	4,659	1.0	40,703	3.1	—	98.2

（注）期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

（2020. 3. 10 ～ 2020. 9. 7）

■米国株式市況

米国株式市場は上昇しました。

米国株式市況は、当作成期首より、新型コロナウイルスによる世界経済停滞への懸念が広がり、下落しました。しかし、新型コロナウイルス感染率の低下やグローバルスケールでの投資家のポジショニングの転換、大規模な財政出動により、2020年３月下旬で株式相場は底を打ち上昇に転じ、当作成期末にかけて上昇基調が継続しました。

■為替相場

米ドルは対円で小幅上昇しました。

当作成期首より、新型コロナウイルスの感染状況の悪化に伴い一時米ドルは対円で下落しましたが、2020年３月上旬には、米ドル需要の高まりにより上昇しました。その後は、ＦＲＢ（米国連邦準備制度理事会）と日銀の緩和姿勢の違いなどにより、円高米ドル安基調で推移しました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

引き続き、クロッキーＵＳストラテジー・ファンド（米ドル・クラス）とダイワ・マネー・マザーファンドに投資します。また、クロッキーＵＳストラテジー・ファンド（米ドル・クラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

■クロッキーＵＳストラテジー・ファンド（米ドル・クラス）

Ｓ＆Ｐ500種株価指数構成銘柄の時価総額上位半数程度の銘柄からＧＩＣＳ（世界産業分類基準）の金融セクターに属する銘柄を除いた銘柄を投資対象銘柄とし、「クロッキーモデル」を用いて会計データを重点分析し、割安と判断される40銘柄を選定します。選定時における各銘柄の構成比率はおおむね均等とします。個別銘柄ごとに、当該株式を原資産とするコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築します。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

ポートフォリオについて

（2020. 3. 10 ～ 2020. 9. 7）

■当ファンド

当ファンドは、クロッキーＵＳストラテジー・ファンド（米ドル・クラス）とダイワ・マネー・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズであり、当作成期を通じてクロッキーＵＳストラテジー・ファンド（米ドル・クラス）とダイワ・マネー・マザーファンドに投資しました。クロッキーＵＳストラテジー・ファンド（米ドル・クラス）への投資割合を高位に維持しました。

■クロッキーＵＳストラテジー・ファンド（米ドル・クラス）

Ｓ＆Ｐ500種株価指数構成銘柄の時価総額上位半数程度の銘柄からＧＩＣＳ（世界産業分類基準）の金融セクターに属する銘柄を除いた銘柄を投資対象銘柄とし、「クロッキーモデル」を用いて会計データを重点分析し、割安と判断される40銘柄を選定しました。選定時における各銘柄の構成比率はおおむね均等としました。個別銘柄ごとに、当該株式を原資産とするコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築しました。

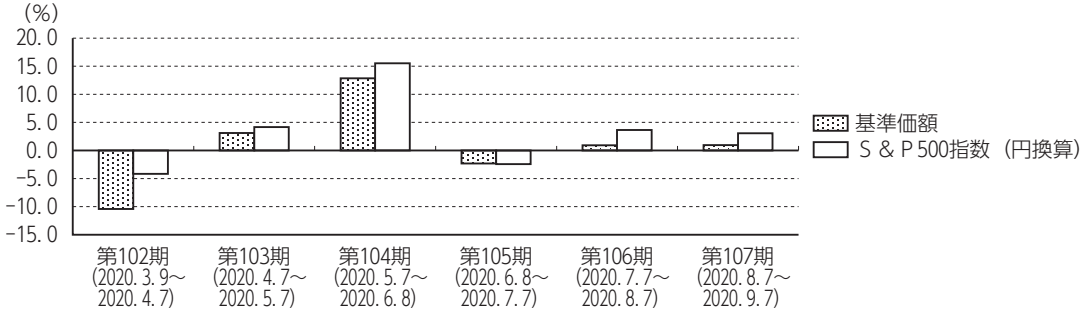
■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、現先取引やコール・ローン等による運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。当ファンドはカバードコール戦略を構築していますので、オプション取引要因は参考指数との差異の要因に含まれます。



分配金について

当作成期の１万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（１万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。
収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（１万口当り）」をご参照ください。
なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（１万口当り）

項目	第102期 2020年３月10日 ～2020年４月７日	第103期 2020年４月８日 ～2020年５月７日	第104期 2020年５月８日 ～2020年６月８日	第105期 2020年６月９日 ～2020年７月７日	第106期 2020年７月８日 ～2020年８月７日	第107期 2020年８月８日 ～2020年９月７日
当期分配金(税込み)(円)	**60**	**60**	**60**	**60**	**60**	**60**
対基準価額比率（%）	1.40	1.37	1.23	1.28	1.28	1.29
当期の収益　（円）	42	30	46	37	34	36
当期の収益以外（円）	17	29	13	22	25	23
翌期繰越分配対象額（円）	917	887	875	853	828	805

（注１）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
（注２）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。
（注３）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

■収益分配金の計算過程（１万口当り）

項目	第102期	第103期	第104期	第105期	第106期	第107期
（ａ）経費控除後の配当等収益	✓ 42.17円	✓ 30.81円	✓ 46.70円	✓ 37.67円	✓ 34.85円	✓ 36.53円
（ｂ）経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
（ｃ）収益調整金	✓ 934.96	✓ 917.17	✓ 888.40	✓ 876.10	✓ 853.80	✓ 828.71
（ｄ）分配準備積立金	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
（ｅ）当期分配対象額（a+b+c+d）	977.14	947.99	935.10	913.77	888.65	865.24
（ｆ）分配金	60.00	60.00	60.00	60.00	60.00	60.00
（ｇ）翌期繰越分配対象額（e－f）	917.14	887.99	875.10	853.77	828.65	805.24

（注）✓を付した該当項目から分配金を計上しています。

今後の運用方針

■当ファンド

引き続き、クロッキーＵＳストラテジー・ファンド（米ドル・クラス）とダイワ・マネー・マザーファンドに投資します。また、クロッキーＵＳストラテジー・ファンド（米ドル・クラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

■クロッキーＵＳストラテジー・ファンド（米ドル・クラス）

Ｓ＆Ｐ500種株価指数構成銘柄の時価総額上位半数程度の銘柄からＧＩＣＳ（世界産業分類基準）の金融セクターに属する銘柄を除いた銘柄を投資対象銘柄とし、「クロッキーモデル」を用いて会計データを重点分析し、割安と判断される40銘柄を選定します。選定時における各銘柄の構成比率はおおむね均等とします。個別銘柄ごとに、当該株式を原資産とするコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築します。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

1万口当りの費用の明細

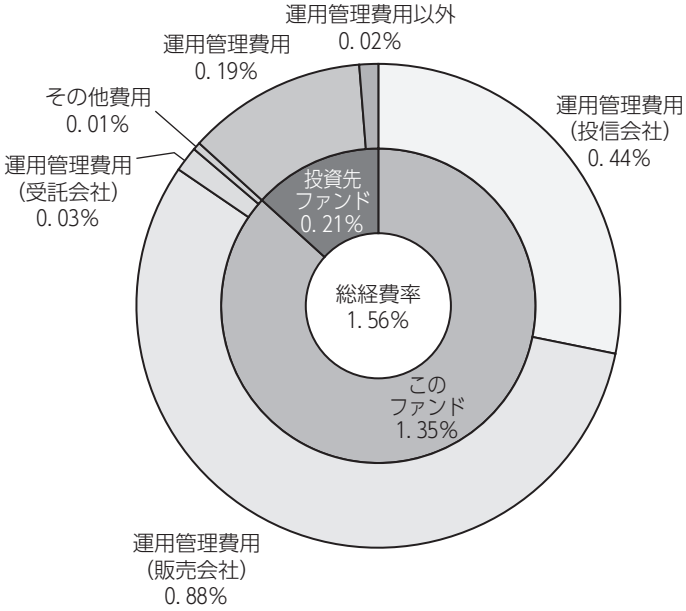
項　目	第102期～第107期 (2020. 3. 10～2020. 9. 7)		項　目　の　概　要
	金　額	比　率	
信　託　報　酬	30円	0. 670%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 **当作成期中の平均基準価額は4, 488円です。**
（投信会社）	(10)	(0. 219)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
（販売会社）	(20)	(0. 439)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	(1)	(0. 013)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0. 003	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
（監査費用）	(0)	(0. 003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（そ　の　他）	(0)	(0. 000)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合　　計	30	0. 673	

（注１）当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。
（注２）各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。
（注３）各比率は１万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第３位未満を四捨五入してあります。
（注４）組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「１万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（１口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.56％です。



総経費率　（　①　＋　②　＋　③　）	1.56%
①このファンドの費用の比率	1.35%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.19%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.02%

（注１）①の費用は、１万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
（注２）各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。
（注３）各比率は、年率換算した値です。
（注４）投資先ファンドとは、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。
（注５）①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。
（注６）①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。
（注７）上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■売買および取引の状況
投資信託受益証券

（2020年３月10日から2020年９月７日まで）

決算期	第102期～第107期			
	買付		売付	
	口数	金額	口数	金額
	千口	千円	千口	千円
外国（邦貨建）	3,549.19988	337,018	6,529.72742	629,000

（注１）買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。
（注２）金額は受渡し代金。
（注３）金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄
投資信託受益証券

（2020年３月10日から2020年９月７日まで）

第102期～第107期							
買付				売付			
銘柄	口数	金額	平均単価	銘柄	口数	金額	平均単価
	千口	千円	円		千口	千円	円
CROCI US STRATEGY FUND USD CLASS（ケイマン諸島）	1,226.07498	118,000	96	CROCI US STRATEGY FUND USD CLASS（ケイマン諸島）	6,529.72742	629,000	96

（注１）金額は受渡し代金。
（注２）金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表
(1) ファンド・オブ・ファンズが組み入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	第107期末		
	口数	評価額	比率
	千口	千円	%
外国投資信託受益証券 （ケイマン諸島） CROCI US STRATEGY FUND USD CLASS	38,418.98197	3,876,475	98.2

（注１）比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。
（注２）評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種類	第101期末	第107期末	
	口数	口数	評価額
	千口	千口	千円
ダイワ・マネー・マザーファンド	12	12	13

（注）単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2020年９月７日現在

項目	第107期末	
	評価額	比率
	千円	%
投資信託受益証券	3,876,475	96.2
ダイワ・マネー・マザーファンド	13	0.0
コール・ローン等、その他	154,275	3.8
投資信託財産総額	4,030,764	100.0

（注）評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

（2020年４月７日）、（2020年５月７日）、（2020年６月８日）、（2020年７月７日）、（2020年８月７日）、（2020年９月７日）現在

項　　目	第102期末	第103期末	第104期末	第105期末	第106期末	第107期末
（A）資産	**3, 782, 786, 794円**	**3, 818, 541, 743円**	**4, 261, 366, 814円**	**4, 143, 454, 343円**	**4, 101, 364, 632円**	**4, 030, 764, 201円**
コール・ローン等	96, 722, 368	111, 353, 304	107, 539, 294	124, 081, 008	142, 093, 183	154, 275, 919
投資信託受益証券（評価額）	3, 686, 051, 421	3, 707, 175, 434	4, 153, 814, 517	4, 019, 360, 332	3, 959, 258, 447	3, 876, 475, 280
ダイワ・マネー・マザーファンド（評価額）	13, 005	13, 005	13, 003	13, 003	13, 002	13, 002
（B）負債	**58, 820, 516**	**57, 604, 128**	**79, 892, 943**	**70, 717, 793**	**62, 651, 566**	**83, 020, 005**
未払収益分配金	52, 739, 531	52, 367, 609	52, 240, 800	52, 757, 457	52, 506, 599	51, 508, 611
未払解約金	2, 171, 743	931, 051	22, 912, 368	13, 544, 877	5, 350, 292	26, 691, 587
未払信託報酬	3, 885, 427	4, 255, 600	4, 661, 265	4, 310, 587	4, 661, 434	4, 657, 930
その他未払費用	23, 815	49, 868	78, 510	104, 872	133, 241	161, 877
（C）純資産総額（A－B）	**3, 723, 966, 278**	**3, 760, 937, 615**	**4, 181, 473, 871**	**4, 072, 736, 550**	**4, 038, 713, 066**	**3, 947, 744, 196**
元本	8, 789, 921, 893	8, 727, 934, 987	8, 706, 800, 043	8, 792, 909, 605	8, 751, 099, 859	8, 584, 768, 636
次期繰越損益金	△ 5, 065, 955, 615	△ 4, 966, 997, 372	△ 4, 525, 326, 172	△ 4, 720, 173, 055	△ 4, 712, 386, 793	△ 4, 637, 024, 440
（D）受益権総口数	**8, 789, 921, 893口**	**8, 727, 934, 987口**	**8, 706, 800, 043口**	**8, 792, 909, 605口**	**8, 751, 099, 859口**	**8, 584, 768, 636口**
１万口当り基準価額（C／D）	**4, 237円**	**4, 309円**	**4, 803円**	**4, 632円**	**4, 615円**	**4, 599円**

＊第101期末における元本額は8, 999, 023, 495円、当作成期間（第102期～第107期）中における追加設定元本額は609, 747, 609円、同解約元本額は1, 024, 002, 468円です。
＊第107期末の計算口数当りの純資産額は4, 599円です。
＊第107期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は4, 637, 024, 440円です。

■損益の状況

第102期　自 2020年３月10日　至 2020年４月７日
第103期　自 2020年４月８日　至 2020年５月７日
第104期　自 2020年５月８日　至 2020年６月８日
第105期　自 2020年６月９日　至 2020年７月７日
第106期　自 2020年７月８日　至 2020年８月７日
第107期　自 2020年８月８日　至 2020年９月７日

項　　目	第102期	第103期	第104期	第105期	第106期	第107期
（A）配当等収益	**40, 982, 646円**	**27, 894, 368円**	**41, 061, 531円**	**37, 463, 046円**	**34, 280, 355円**	**35, 312, 930円**
受取配当金	40, 985, 696	27, 895, 473	41, 063, 392	37, 465, 147	34, 281, 828	35, 316, 013
受取利息	150	1	—	56	68	9
支払利息	△ 3, 200	△ 1, 106	△ 1, 861	△ 2, 157	△ 1, 541	△ 3, 092
（B）有価証券売買損益	**△ 471, 513, 735**	**91, 776, 603**	**443, 383, 216**	**△ 126, 383, 056**	**8, 304, 489**	**6, 583, 305**
売買益	19, 123, 363	93, 003, 311	446, 957, 841	4, 350, 112	8, 168, 325	7, 285, 044
売買損	△ 490, 637, 098	△ 1, 226, 708	△ 3, 574, 625	△ 130, 733, 168	136, 164	△ 701, 739
（C）信託報酬等	**△ 3, 909, 242**	**△ 4, 281, 653**	**△ 4, 689, 946**	**△ 4, 336, 963**	**△ 4, 689, 959**	**△ 4, 686, 566**
（D）当期損益金（A＋B＋C）	**△ 434, 440, 331**	**115, 389, 318**	**479, 754, 801**	**△ 93, 256, 973**	**37, 894, 885**	**37, 209, 669**
（E）前期繰越損益金	**△ 1, 936, 038, 858**	**△ 2, 379, 393, 064**	**△ 2, 252, 646, 734**	**△ 1, 778, 990, 933**	**△ 1, 887, 854, 686**	**△ 1, 834, 967, 343**
（F）追加信託差損益金	**△ 2, 642, 736, 895**	**△ 2, 650, 626, 017**	**△ 2, 700, 193, 439**	**△ 2, 795, 167, 692**	**△ 2, 809, 920, 393**	**△ 2, 787, 758, 155**
（配当等相当額）	(821, 827, 862)	(800, 503, 270)	(773, 515, 089)	(770, 351, 593)	(747, 169, 666)	(711, 428, 622)
（売買損益相当額）	(△ 3, 464, 564, 757)	(△ 3, 451, 129, 287)	(△ 3, 473, 708, 528)	(△ 3, 565, 519, 285)	(△ 3, 557, 090, 059)	(△ 3, 499, 186, 777)
（G）合計（D＋E＋F）	**△ 5, 013, 216, 084**	**△ 4, 914, 629, 763**	**△ 4, 473, 085, 372**	**△ 4, 667, 415, 598**	**△ 4, 659, 880, 194**	**△ 4, 585, 515, 829**
（H）収益分配金	**△ 52, 739, 531**	**△ 52, 367, 609**	**△ 52, 240, 800**	**△ 52, 757, 457**	**△ 52, 506, 599**	**△ 51, 508, 611**
次期繰越損益金（G＋H）	**△ 5, 065, 955, 615**	**△ 4, 966, 997, 372**	**△ 4, 525, 326, 172**	**△ 4, 720, 173, 055**	**△ 4, 712, 386, 793**	**△ 4, 637, 024, 440**
追加信託差損益金	△ 2, 658, 403, 022	△ 2, 676, 097, 311	△ 2, 711, 770, 415	△ 2, 814, 799, 066	△ 2, 831, 922, 054	△ 2, 807, 904, 142
（配当等相当額）	(806, 161, 735)	(775, 031, 976)	(761, 938, 113)	(750, 720, 219)	(725, 168, 005)	(691, 282, 635)
（売買損益相当額）	(△ 3, 464, 564, 757)	(△ 3, 451, 129, 287)	(△ 3, 473, 708, 528)	(△ 3, 565, 519, 285)	(△ 3, 557, 090, 059)	(△ 3, 499, 186, 777)
繰越損益金	△ 2, 407, 552, 593	△ 2, 290, 900, 061	△ 1, 813, 555, 757	△ 1, 905, 373, 989	△ 1, 880, 464, 739	△ 1, 829, 120, 298

（注１）信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。
（注２）追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。
（注３）収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項　　目	第102期	第103期	第104期	第105期	第106期	第107期
(a) 経費控除後の配当等収益	37,073,404円	26,896,315円	40,663,824円	33,126,083円	30,504,938円	31,362,624円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	821,827,862	800,503,270	773,515,089	770,351,593	747,169,666	711,428,622
(d) 分配準備積立金	0	0	0	0	0	0
(e) 当期分配対象額（a＋b＋c＋d）	858,901,266	827,399,585	814,178,913	803,477,676	777,674,604	742,791,246
(f) 分配金	52,739,531	52,367,609	52,240,800	52,757,457	52,506,599	51,508,611
(g) 翌期繰越分配対象額（e－f）	806,161,735	775,031,976	761,938,113	750,720,219	725,168,005	691,282,635
(h) 受益権総口数	8,789,921,893口	8,727,934,987口	8,706,800,043口	8,792,909,605口	8,751,099,859口	8,584,768,636口

収　益　分　配　金　の　お　知　ら　せ						
1万口当り分配金	第102期	第103期	第104期	第105期	第106期	第107期
	60円	60円	60円	60円	60円	60円

●〈分配金再投資コース〉をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

通貨セレクト・コース（毎月分配型）

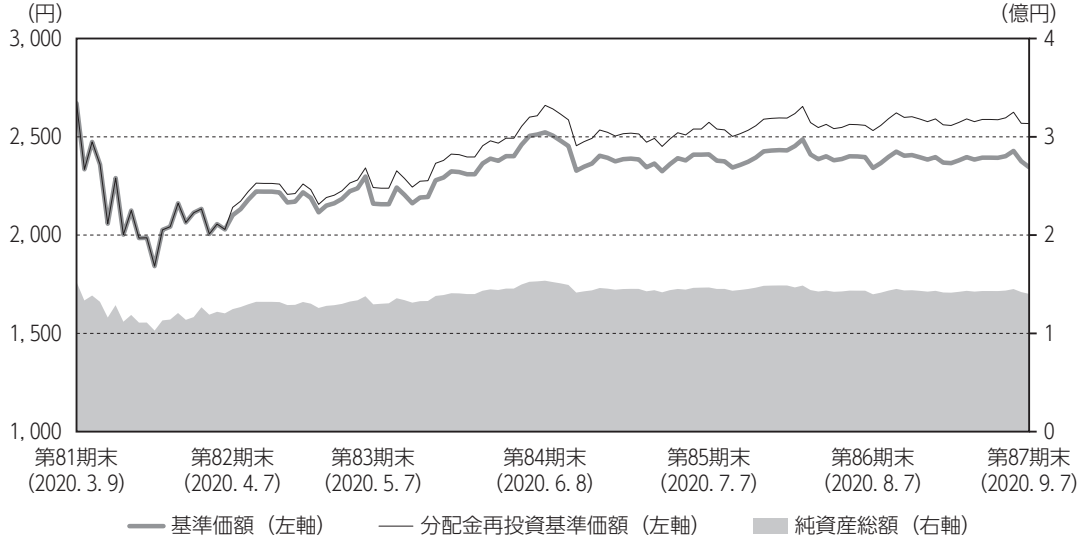
最近30期の運用実績

決算期	基準価額			S＆P500指数（米ドルベース）		公社債組入比率	投資信託受益証券組入比率	純資産総額
	（分配落）	税込み分配金	期中騰落率	（参考指数）	期中騰落率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
58期末（2018年4月9日）	4,125	70	△ 4.2	15,743	△ 4.5	—	98.4	317
59期末（2018年5月7日）	4,004	70	△ 1.2	16,099	2.3	—	98.7	261
60期末（2018年6月7日）	3,971	70	0.9	16,757	4.1	—	99.1	247
61期末（2018年7月9日）	3,857	70	△ 1.1	16,682	△ 0.5	0.0	98.8	238
62期末（2018年8月7日）	3,858	70	1.8	17,229	3.3	0.0	98.6	228
63期末（2018年9月7日）	3,506	70	△ 7.3	17,396	1.0	—	98.4	224
64期末（2018年10月9日）	3,611	70	5.0	17,435	0.2	—	99.1	245
65期末（2018年11月7日）	3,457	70	△ 2.3	16,655	△ 4.5	—	98.6	247
66期末（2018年12月7日）	3,350	70	△ 1.1	16,296	△ 2.2	—	99.1	275
67期末（2019年1月7日）	3,063	40	△ 7.4	15,304	△ 6.1	—	98.5	255
68期末（2019年2月7日）	3,355	40	10.8	16,511	7.9	—	99.2	267
69期末（2019年3月7日）	3,363	40	1.4	16,752	1.5	0.0	98.8	269
70期末（2019年4月8日）	3,499	40	5.2	17,485	4.4	—	99.0	274
71期末（2019年5月7日）	3,389	40	△ 2.0	17,725	1.4	—	98.7	254
72期末（2019年6月7日）	3,062	40	△ 8.5	17,187	△ 3.0	—	95.7	233
73期末（2019年7月8日）	3,262	40	7.8	18,075	5.2	—	98.5	241
74期末（2019年8月7日）	3,017	40	△ 6.3	17,419	△ 3.6	—	98.3	214
75期末（2019年9月9日）	3,087	40	3.6	18,005	3.4	—	99.2	220
76期末（2019年10月7日）	3,036	40	△ 0.4	17,843	△ 0.9	—	98.0	200
77期末（2019年11月7日）	3,316	40	10.5	18,597	4.2	—	98.1	202
78期末（2019年12月9日）	3,309	40	1.0	19,015	2.2	—	98.1	196
79期末（2020年1月7日）	3,339	40	2.1	19,622	3.2	—	98.2	196
80期末（2020年2月7日）	3,345	40	1.4	20,223	3.1	—	98.3	190
81期末（2020年3月9日）	2,671	40	△ 19.0	17,966	△ 11.2	—	98.2	152
82期末（2020年4月7日）	2,101	40	△ 19.8	16,100	△ 10.4	—	98.8	124
83期末（2020年5月7日）	2,160	40	4.7	17,217	6.9	—	98.6	129
84期末（2020年6月8日）	2,523	40	18.7	19,306	12.1	—	97.9	153
85期末（2020年7月7日）	2,411	30	△ 3.3	19,220	△ 0.4	—	99.2	146
86期末（2020年8月7日）	2,342	30	△ 1.6	20,244	5.3	—	98.3	139
87期末（2020年9月7日）	2,345	30	1.4	20,714	2.3	—	99.5	140

（注1）基準価額の騰落率は分配金込み。
（注2）S＆P500指数（米ドルベース）は、S＆P500指数（米ドルベース）の原データをもとに、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。S＆P500指数（米ドルベース）の所有権およびその他一切の権利は、S＆P Dow Jones Indices LLCが有しています。S＆P Dow Jones Indices LLCは、同指数の算出にかかる誤謬等に関し、いかなる者に対しても責任を負うものではありません。
（注3）海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。
（注4）指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。
（注5）公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。
（注6）公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。

運用経過

基準価額等の推移について



＊分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
＊分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

■基準価額・騰落率

第82期首：2,671円
第87期末：2,345円（既払分配金210円）
騰　落　率：△3.9%（分配金再投資ベース）

■基準価額の主な変動要因

クロッキーＵＳストラテジー・ファンド（通貨セレクト・クラス）とダイワ・マネー・マザーファンドに投資した結果、クロッキーＵＳストラテジー・ファンド（通貨セレクト・クラス）の下落がマイナス要因となり、基準価額は下落しました。クロッキーＵＳストラテジー・ファンド（通貨セレクト・クラス）については、米国の株式とオプション取引を組み合わせたカバードコール戦略を構築するとともに、米ドル売り／選定通貨買いの為替取引を活用した結果、「クロッキーモデル」によって選定された銘柄で構築する株式ポートフォリオが上昇したことや為替取引によるプレミアム（金利差相当分の収益）がプラス要因となったものの、オプション取引戦略や選定通貨が対円でおおむね下落（円高）したことがマイナス要因となり、下落しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

※クロッキーＵＳストラテジー・ファンド（通貨セレクト・クラス）：オージェンタム・トラスト－クロッキーＵＳストラテジー・ファンド（通貨セレクト・クラス）

ダイワ米国株ストラテジーα（通貨選択型）－トリプルリターンズ－ 通貨セレクト・コース（毎月分配型）

	年　月　日	基準価額		S＆P500指数（米ドルベース）		公社債組入比率	投資信託受益証券組入比率
			騰落率	（参考指数）	騰落率		
		円	%		%	%	%
第82期	（期首）2020年3月9日	2,671	—	17,966	—	—	98.2
	3月末	2,114	△ 20.9	15,877	△ 11.6	—	97.8
	（期末）2020年4月7日	2,141	△ 19.8	16,100	△ 10.4	—	98.8
第83期	（期首）2020年4月7日	2,101	—	16,100	—	—	98.8
	4月末	2,238	6.5	17,768	10.4	—	97.2
	（期末）2020年5月7日	2,200	4.7	17,217	6.9	—	98.6
第84期	（期首）2020年5月7日	2,160	—	17,217	—	—	98.6
	5月末	2,378	10.1	18,313	6.4	—	99.2
	（期末）2020年6月8日	2,563	18.7	19,306	12.1	—	97.9
第85期	（期首）2020年6月8日	2,523	—	19,306	—	—	97.9
	6月末	2,361	△ 6.4	18,455	△ 4.4	—	99.0
	（期末）2020年7月7日	2,441	△ 3.3	19,220	△ 0.4	—	99.2
第86期	（期首）2020年7月7日	2,411	—	19,220	—	—	99.2
	7月末	2,381	△ 1.2	19,622	2.1	—	99.0
	（期末）2020年8月7日	2,372	△ 1.6	20,244	5.3	—	98.3
第87期	（期首）2020年8月7日	2,342	—	20,244	—	—	98.3
	8月末	2,394	2.2	21,204	4.7	—	98.2
	（期末）2020年9月7日	2,375	1.4	20,714	2.3	—	99.5

（注）期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

（2020. 3. 10 ～ 2020. 9. 7）

■米国株式市況

米国株式市場は上昇しました。

米国株式市況は、当作成期首より、新型コロナウイルスによる世界経済停滞への懸念が広がり、下落しました。しかし、新型コロナウイルス感染率の低下やグローバルスケールでの投資家のポジショニングの転換、大規模な財政出動により、2020年３月下旬で株式相場は底を打ち上昇に転じ、当作成期末にかけて上昇基調が継続しました。

■為替相場

選定通貨（※）は対円でおおむね下落しました。

当作成期首から2020年４月末にかけては、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大から市場のリスク回避姿勢が強まり、選定通貨は対円でおおむね下落しました。５月以降は、世界的な経済活動の再開期待から、選定通貨は対円でおおむね上昇しました。

当作成期においての選定通貨の値動きは、インドネシア・ルピア、メキシコ・ペソ、ロシア・ルーブル、トルコ・リラ、南アフリカ・ランド、コロンビア・ペソは対円で下落しました。一方で、インド・ルピー、ルーマニア・レイ、中国・人民元は対円で上昇（円安）しました。

※選定通貨とは、通貨の選定方針により、為替取引の対象通貨として選定された通貨をいいます。

■短期金利市況

選定通貨の短期金利は、高い経済成長率やインフレ率を背景に米ドルの短期金利をおおむね上回って推移しました。一方、米国の短期金利は、ＦＲＢ（米国連邦準備制度理事会）がＦＯＭＣ（米国連邦公開市場委員会）で政策金利の誘導目標レンジを1. 00～1. 25％から０～0. 25％に引き下げました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

引き続き、クロッキーＵＳストラテジー・ファンド（通貨セレクト・クラス）とダイワ・マネー・マザーファンドに投資します。また、クロッキーＵＳストラテジー・ファンド（通貨セレクト・クラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

■クロッキーＵＳストラテジー・ファンド（通貨セレクト・クラス）

Ｓ＆Ｐ500種株価指数構成銘柄の時価総額上位半数程度の銘柄からＧＩＣＳ（世界産業分類基準）の金融セクターに属する銘柄を除いた銘柄を投資対象銘柄とし、「クロッキーモデル」を用いて会計データを重点分析し、割安と判断される40銘柄を選定します。選定時における各銘柄の構成比率はおおむね均等とします。個別銘柄ごとに、当該株式を原資産とするコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築します。米ドル売り／選定通貨買いの為替取引を活用して、選定通貨で実質的な運用を行います。選定通貨については原則として、ＦＴＳＥ世界国債インデックスおよびＪＰモルガン ガバメント・ボンド・インデックス－エマージング・マーケッツ ブロードの構成国の通貨の中から、金利水準、リスク水準、ファンダメンタルズ、流動性等を考慮し、６つの通貨を選定します。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

ポートフォリオについて

（2020. 3. 10 ～ 2020. 9. 7）

■当ファンド

当ファンドは、クロッキーＵＳストラテジー・ファンド（通貨セレクト・クラス）とダイワ・マネー・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズであり、当作成期を通じてクロッキーＵＳストラテジー・ファンド（通貨セレクト・クラス）とダイワ・マネー・マザーファンドに投資しました。また、クロッキーＵＳストラテジー・ファンド（通貨セレクト・クラス）への投資割合を高位に維持しました。

■クロッキーＵＳストラテジー・ファンド（通貨セレクト・クラス）

Ｓ＆Ｐ500種株価指数構成銘柄の時価総額上位半数程度の銘柄からＧＩＣＳ（世界産業分類基準）の金融セクターに属する銘柄を除いた銘柄を投資対象銘柄とし、「クロッキーモデル」を用いて会計データを重点分析し、割安と判断される40銘柄を選定しました。選定時における各銘柄の構成比率はおおむね均等としました。個別銘柄ごとに、当該株式を原資産とするコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築しました。米ドル売り／選定通貨買いの為替取引を活用して、選定通貨で実質的な運用を行いました。選定通貨においては、金利水準、リスク水準、ファンダメンタルズ、流動性等を勘案し、中長期的な視点から安定したキャリー（利息収入）収益が享受できる通貨を毎月６通貨選定し、運用を行いました。また、選定通貨合計の比率は、原資産に対しておおむね100％を維持しました。

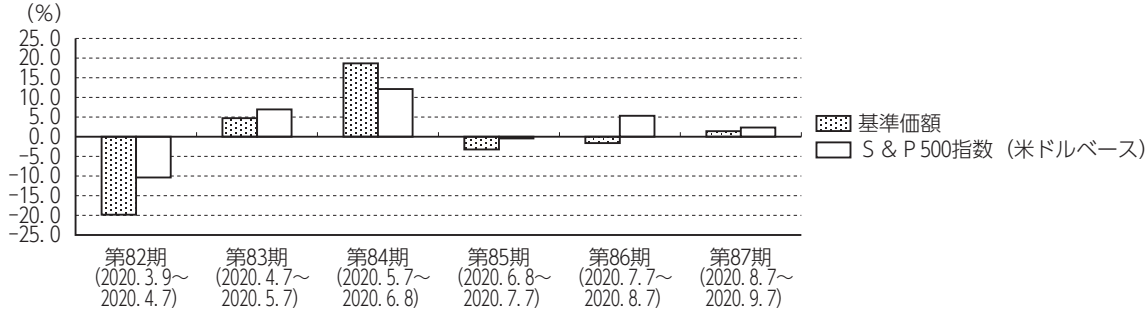
■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、現先取引やコール・ローン等による運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。当ファンドはカバードコール戦略を構築していますので、オプション取引要因は参考指数との差異の要因に含まれます。



分配金について

当作成期の１万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（１万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。
収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（１万口当り）」をご参照ください。
なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（１万口当り）

項目	第82期 2020年３月10日 ～2020年４月７日	第83期 2020年４月８日 ～2020年５月７日	第84期 2020年５月８日 ～2020年６月８日	第85期 2020年６月９日 ～2020年７月７日	第86期 2020年７月８日 ～2020年８月７日	第87期 2020年８月８日 ～2020年９月７日
当期分配金（税込み）（円）	**40**	**40**	**40**	**30**	**30**	**30**
対基準価額比率（％）	1.87	1.82	1.56	1.23	1.26	1.26
当期の収益（円）	34	27	38	30	29	30
当期の収益以外（円）	5	12	1	—	0	—
翌期繰越分配対象額（円）	415	402	401	406	406	407

（注１）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
（注２）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。
（注３）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

■収益分配金の計算過程（１万口当り）

項目	第82期	第83期	第84期	第85期	第86期	第87期
（ａ）経費控除後の配当等収益	✓ 34.60円	✓ 27.47円	✓ 38.71円	✓ 34.84円	✓ 29.22円	✓ 31.44円
（ｂ）経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
（ｃ）収益調整金	376.33	376.97	377.58	377.98	378.22	378.34
（ｄ）分配準備積立金	✓ 44.31	✓ 38.50	✓ 25.53	24.02	✓ 28.66	27.78
（ｅ）当期分配対象額（a+b+c+d）	455.25	442.95	441.83	436.85	436.12	437.56
（ｆ）分配金	40.00	40.00	40.00	30.00	30.00	30.00
（ｇ）翌期繰越分配対象額（e－f）	415.25	402.95	401.83	406.85	406.12	407.56

（注）✓を付した該当項目から分配金を計上しています。

今後の運用方針

■当ファンド

引き続き、クロッキーＵＳストラテジー・ファンド（通貨セレクト・クラス）とダイワ・マネー・マザーファンドに投資します。また、クロッキーＵＳストラテジー・ファンド（通貨セレクト・クラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

■クロッキーＵＳストラテジー・ファンド（通貨セレクト・クラス）

Ｓ＆Ｐ500種株価指数構成銘柄の時価総額上位半数程度の銘柄からＧＩＣＳ（世界産業分類基準）の金融セクターに属する銘柄を除いた銘柄を投資対象銘柄とし、「クロッキーモデル」を用いて会計データを重点分析し、割安と判断される40銘柄を選定します。選定時における各銘柄の構成比率はおおむね均等とします。個別銘柄ごとに、当該株式を原資産とするコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築します。米ドル売り／選定通貨買いの為替取引を活用して、選定通貨で実質的な運用を行います。選定通貨については原則として、ＦＴＳＥ世界国債インデックスおよびＪＰモルガン ガバメント・ボンド・インデックス－エマージング・マーケッツ ブロードの構成国の通貨の中から、金利水準、リスク水準、ファンダメンタルズ、流動性等を考慮し、６つの通貨を選定します。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

1万口当りの費用の明細

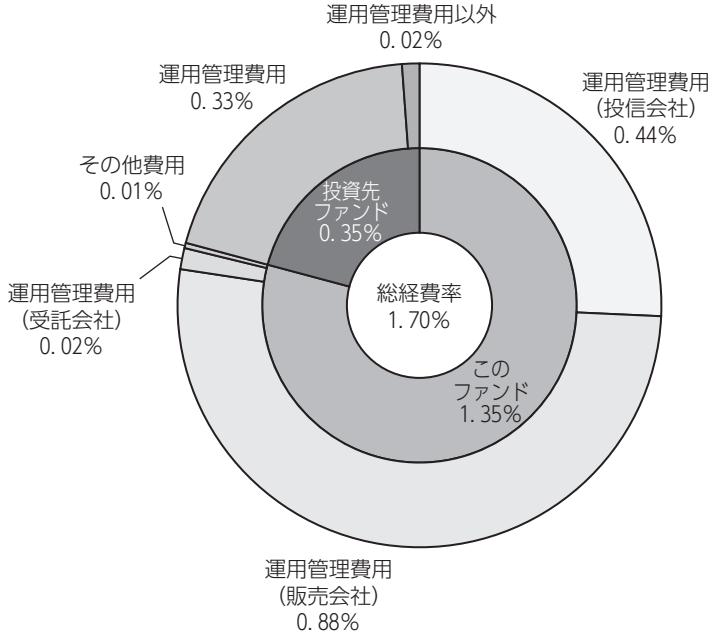
項　目	第82期～第87期 (2020. 3. 10～2020. 9. 7)		項　目　の　概　要
	金　額	比　率	
信　託　報　酬	15円	0. 668%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 **当作成期中の平均基準価額は2, 301円です。**
（投信会社）	(5)	(0. 218)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
（販売会社）	(10)	(0. 438)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	(0)	(0. 012)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0. 003	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
（監査費用）	(0)	(0. 003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（そ　の　他）	(0)	(0. 000)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合　　計	15	0. 671	

（注１）当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。
（注２）各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。
（注３）各比率は１万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第３位未満を四捨五入してあります。
（注４）組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「１万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（１口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.70%です。



総経費率　（　①　＋　②　＋　③　）	1.70%
①このファンドの費用の比率	1.35%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.33%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.02%

（注１）①の費用は、１万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
（注２）各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。
（注３）各比率は、年率換算した値です。
（注４）投資先ファンドとは、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。
（注５）①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。
（注６）①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。
（注７）上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■売買および取引の状況
投資信託受益証券

（2020年３月10日から2020年９月７日まで）

決　算　期	第　82　期　～　第　87　期			
	買　　付		売　　付	
	口　　数	金　　額	口　　数	金　　額
	千口	千円	千口	千円
外国 （邦貨建）	1,071.81167	25,058	722.77176	18,500

（注１）買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。
（注２）金額は受渡し代金。
（注３）金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄
投資信託受益証券

（2020年３月10日から2020年９月７日まで）

第　82　期　～　第　87　期							
買　　付				売　　付			
銘　　柄	口　数	金　額	平均単価	銘　　柄	口　数	金　額	平均単価
	千口	千円	円		千口	千円	円
CROCI US STRATEGY FUND CURRENCY SELECTION CLASS （ケイマン諸島）	550.50214	12,500	22	CROCI US STRATEGY FUND CURRENCY SELECTION CLASS （ケイマン諸島）	722.77176	18,500	25

（注１）金額は受渡し代金。
（注２）金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表
(1) ファンド・オブ・ファンズが組み入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	第　87　期　末		
	口　数	評価額	比　率
	千口	千円	%
外国投資信託受益証券 （ケイマン諸島） CROCI US STRATEGY FUND CURRENCY SELECTION CLASS	5,469.67634	139,476	99.5

（注１）比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。
（注２）評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種　　類	第81期末	第　87　期　末	
	口　数	口　数	評 価 額
	千口	千口	千円
ダイワ・マネー・マザーファンド	98	98	99

（注）単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2020年９月７日現在

項　　目	第　87　期　末	
	評　価　額	比　　率
	千円	%
投資信託受益証券	139,476	98.1
ダイワ・マネー・マザーファンド	99	0.1
コール・ローン等、その他	2,556	1.8
投資信託財産総額	142,132	100.0

（注）評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

（2020年４月７日）、（2020年５月７日）、（2020年６月８日）、（2020年７月７日）、（2020年８月７日）、（2020年９月７日）現在

項　　目	第82期末	第83期末	第84期末	第85期末	第86期末	第87期末
（A）資産	**127, 183, 617円**	**132, 082, 935円**	**158, 198, 595円**	**148, 675, 419円**	**142, 142, 964円**	**142, 132, 600円**
コール・ローン等	3, 904, 822	4, 278, 738	3, 806, 253	3, 093, 666	4, 699, 266	2, 556, 002
投資信託受益証券（評価額）	123, 178, 923	127, 704, 325	150, 292, 480	145, 481, 891	137, 343, 846	139, 476, 746
ダイワ・マネー・マザーファンド（評価額）	99, 872	99, 872	99, 862	99, 862	99, 852	99, 852
未収入金	—	—	4, 000, 000	—	—	—
（B）負債	**2, 502, 440**	**2, 545, 832**	**4, 608, 125**	**1, 984, 186**	**2, 390, 197**	**1, 961, 676**
未払金	—	—	2, 000, 000	—	—	—
未払収益分配金	2, 373, 453	2, 398, 506	2, 435, 293	1, 825, 080	1, 789, 872	1, 793, 033
未払解約金	—	—	4, 984	—	429, 342	—
未払信託報酬	128, 212	145, 669	165, 197	155, 521	166, 392	163, 066
その他未払費用	775	1, 657	2, 651	3, 585	4, 591	5, 577
（C）純資産総額（A－B）	**124, 681, 177**	**129, 537, 103**	**153, 590, 470**	**146, 691, 233**	**139, 752, 767**	**140, 170, 924**
元本	593, 363, 325	599, 626, 711	608, 823, 441	608, 360, 230	596, 624, 052	597, 677, 758
次期繰越損益金	△ 468, 682, 148	△ 470, 089, 608	△ 455, 232, 971	△ 461, 668, 997	△ 456, 871, 285	△ 457, 506, 834
（D）受益権総口数	**593, 363, 325口**	**599, 626, 711口**	**608, 823, 441口**	**608, 360, 230口**	**596, 624, 052口**	**597, 677, 758口**
１万口当り基準価額（C／D）	**2, 101円**	**2, 160円**	**2, 523円**	**2, 411円**	**2, 342円**	**2, 345円**

＊第81期末における元本額は570, 465, 173円、当作成期間（第82期～第87期）中における追加設定元本額は77, 549, 799円、同解約元本額は50, 337, 214円です。
＊第87期末の計算口数当りの純資産額は2, 345円です。
＊第87期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は457, 506, 834円です。

■損益の状況

第82期　自 2020年３月10日　至 2020年４月７日　　第84期　自 2020年５月８日　至 2020年６月８日　　第86期　自 2020年７月８日　至 2020年８月７日
第83期　自 2020年４月８日　至 2020年５月７日　　第85期　自 2020年６月９日　至 2020年７月７日　　第87期　自 2020年８月８日　至 2020年９月７日

項　　目	第82期	第83期	第84期	第85期	第86期	第87期
（A）配当等収益	**2, 182, 416円**	**1, 688, 656円**	**2, 372, 871円**	**2, 276, 131円**	**1, 911, 172円**	**2, 036, 504円**
受取配当金	2, 182, 539	1, 688, 716	2, 372, 926	2, 276, 167	1, 911, 207	2, 036, 603
受取利息	4	—	—	1	2	—
支払利息	△ 127	△ 60	△ 55	△ 37	△ 37	△ 99
（B）有価証券売買損益	**△ 30, 962, 256**	**4, 336, 836**	**22, 215, 421**	**△ 7, 030, 137**	**△ 4, 057, 137**	**88, 157**
売買益	1, 102, 363	4, 336, 686	22, 215, 115	58, 728	21, 990	95, 701
売買損	△ 32, 064, 619	150	306	△ 7, 088, 865	△ 4, 079, 127	△ 7, 544
（C）信託報酬等	**△ 128, 987**	**△ 146, 551**	**△ 166, 192**	**△ 156, 458**	**△ 167, 398**	**△ 164, 052**
（D）当期損益金（A＋B＋C）	**△ 28, 908, 827**	**5, 878, 941**	**24, 422, 100**	**△ 4, 910, 464**	**△ 2, 313, 363**	**1, 960, 609**
（E）前期繰越損益金	**△ 106, 446, 006**	**△ 137, 697, 807**	**△ 133, 952, 208**	**△ 110, 841, 473**	**△ 114, 517, 013**	**△ 118, 370, 739**
（F）追加信託差損益金	**△ 330, 953, 862**	**△ 335, 872, 236**	**△ 343, 267, 570**	**△ 344, 091, 980**	**△ 338, 251, 037**	**△ 339, 303, 671**
（配当等相当額）	(22, 330, 421)	(22, 604, 233)	(22, 988, 434)	(22, 995, 380)	(22, 565, 979)	(22, 612, 653)
（売買損益相当額）	(△ 353, 284, 283)	(△ 358, 476, 469)	(△ 366, 256, 004)	(△ 367, 087, 360)	(△ 360, 817, 016)	(△ 361, 916, 324)
（G）合計（D＋E＋F）	**△ 466, 308, 695**	**△ 467, 691, 102**	**△ 452, 797, 678**	**△ 459, 843, 917**	**△ 455, 081, 413**	**△ 455, 713, 801**
（H）収益分配金	**△ 2, 373, 453**	**△ 2, 398, 506**	**△ 2, 435, 293**	**△ 1, 825, 080**	**△ 1, 789, 872**	**△ 1, 793, 033**
次期繰越損益金（G＋H）	**△ 468, 682, 148**	**△ 470, 089, 608**	**△ 455, 232, 971**	**△ 461, 668, 997**	**△ 456, 871, 285**	**△ 457, 506, 834**
追加信託差損益金	△ 330, 953, 862	△ 335, 872, 236	△ 343, 267, 570	△ 344, 091, 980	△ 338, 251, 037	△ 339, 303, 671
（配当等相当額）	(22, 330, 421)	(22, 604, 233)	(22, 988, 434)	(22, 995, 380)	(22, 565, 979)	(22, 612, 653)
（売買損益相当額）	(△ 353, 284, 283)	(△ 358, 476, 469)	(△ 366, 256, 004)	(△ 367, 087, 360)	(△ 360, 817, 016)	(△ 361, 916, 324)
分配準備積立金	2, 309, 172	1, 557, 733	1, 476, 193	1, 755, 967	1, 664, 169	1, 746, 894
繰越損益金	△ 140, 037, 458	△ 135, 775, 105	△ 113, 441, 594	△ 119, 332, 984	△ 120, 284, 417	△ 119, 950, 057

（注１）信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。
（注２）追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。
（注３）収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項　　目	第82期	第83期	第84期	第85期	第86期	第87期
(a) 経費控除後の配当等収益	2, 053, 428円	1, 647, 578円	2, 356, 831円	2, 119, 673円	1, 743, 774円	1, 879, 259円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	22, 330, 421	22, 604, 233	22, 988, 434	22, 995, 380	22, 565, 979	22, 612, 653
(d) 分配準備積立金	2, 629, 197	2, 308, 661	1, 554, 655	1, 461, 374	1, 710, 267	1, 660, 668
(e) 当期分配対象額（a＋b＋c＋d）	27, 013, 046	26, 560, 472	26, 899, 920	26, 576, 427	26, 020, 020	26, 152, 580
(f) 分配金	2, 373, 453	2, 398, 506	2, 435, 293	1, 825, 080	1, 789, 872	1, 793, 033
(g) 翌期繰越分配対象額（e－f）	24, 639, 593	24, 161, 966	24, 464, 627	24, 751, 347	24, 230, 148	24, 359, 547
(h) 受益権総口数	593, 363, 325口	599, 626, 711口	608, 823, 441口	608, 360, 230口	596, 624, 052口	597, 677, 758口

収　益　分　配　金　の　お　知　ら　せ						
1万口当り分配金	第82期	第83期	第84期	第85期	第86期	第87期
	40円	40円	40円	30円	30円	30円

●〈分配金再投資コース〉をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

オージェンタム・トラスト―クロッキーＵＳストラテジー・ファンド 日本円・クラス／豪ドル・クラス／ブラジル・レアル・クラス／米ドル・クラス／通貨セレクト・クラス

当ファンド（ダイワ米国株ストラテジーα（通貨選択型）－トリプル・リターンズ－）はケイマン籍の外国投資信託「オージェンタム・トラスト―クロッキーＵＳストラテジー・ファンド　日本円・クラス／豪ドル・クラス／ブラジル・レアル・クラス／米ドル・クラス／通貨セレクト・クラス」に投資しておりますが、以下の内容は一部の項目を除きすべてのクラスを合算しております。

（注）2020年９月７日時点で入手しうる直近の状況を掲載しております。

（日本円建て）

貸借対照表

2020年２月29日

資産		
投資資産の評価額（簿価 ¥36, 840, 993, 601）	¥	31, 468, 549, 278
現金および現金同等物		82, 956, 087
スワップ契約による評価益		8, 662, 298
資産合計		31, 560, 167, 663
負債		
スワップ契約による評価損		792, 010, 984
未払：		
終了済みスワップ契約		1, 239, 348, 763
専門家報酬		15, 880, 291
管理会社報酬		8, 941, 205
運用会社報酬		3, 362, 516
名義書換代理人報酬		1, 947, 181
登録料		345, 692
受託会社報酬		89, 658
為替投資アドバイザー報酬		72, 872
負債合計		2, 061, 999, 162
純資産	¥	29, 498, 168, 501
豪ドル・クラス	¥	1, 196, 764, 843
ブラジル・レアル・クラス		23, 322, 181, 528
日本円・クラス		357, 803, 755
通貨セレクト・クラス		156, 330, 830
米ドル・クラス		4, 465, 087, 545
	¥	29, 498, 168, 501

発行済み受益証券口数		
豪ドル・クラス		19, 253, 432
ブラジル・レアル・クラス		729, 161, 247
日本円・クラス		5, 072, 984
通貨セレクト・クラス		5, 231, 144
米ドル・クラス		42, 495, 310
受益証券１口当り純資産額		
豪ドル・クラス	¥	62. 16
ブラジル・レアル・クラス	¥	31. 99
日本円・クラス	¥	70. 53
通貨セレクト・クラス	¥	29. 89
米ドル・クラス	¥	105. 07

損益計算書

2020年２月29日に終了した年度

投資収益		
受取利息	¥	2, 489, 664
投資収益合計		2, 489, 664
費用		
運用会社報酬		53, 427, 698
管理会社報酬		26, 565, 042
専門家報酬		5, 297, 727
名義書換代理人報酬		4, 251, 975
受託会社報酬		1, 568, 248
登録料		355, 344
為替投資アドバイザー報酬		330, 062
費用合計		91, 796, 096
投資純損失		(89, 306, 432)
実現益／（損）と評価益／（損）：		
実現益／（損）の内訳：		
証券投資		4, 128, 681, 396
スワップ契約		(5, 120, 469, 415)
外国為替取引および外国為替先渡契約		(43, 764, 108)
純実現損失		(1, 035, 552, 127)
評価益／（損）の純変動の内訳：		
証券投資		(6, 030, 028, 355)
スワップ契約		(879, 647, 314)
外国為替換算		42, 737, 092
評価損の純変動		(6, 866, 938, 577)
純実現損失および評価損の純変動		(7, 902, 490, 704)
運用による純資産の純減	¥	(7, 991, 797, 136)

（日本円建て）

投資明細表

2020年 2 月29日

ストラクチャード商品

投資資産の明細	受益証券数	純資産に占める割合	評価額
CROCI Buy-Write Index*- トータル・リターン・スワップ	3, 858, 231	106. 68%	￥ 31, 468, 549, 278
ストラクチャード商品計（簿価 ¥36, 840, 993, 601）			**31, 468, 549, 278**
投資資産計（簿価 ¥36, 840, 993, 601）		**106. 68%**	**￥ 31, 468, 549, 278**

＊当ファンドは Deutsche Bank A. G. , ロンドン支店との間で締結したファンドの残高と同金額の元本のパフォーマンス・スワップを通して CROCI Buy-Write Index と同様のエクスポージャーを有しています。

豪ドル・クラス外国為替スワップ契約

買い	取引相手	想定元本	満期日	売り	想定元本	純評価益（損）	純資産に占める割合
ＡＵＤ	Deutsche Bank A. G.	17, 308, 888	2020/3/31	ＵＳＤ	(11, 360, 989)	￥ (13, 754, 351)	(0. 05) %

ブラジル・レアル・クラス外国為替スワップ契約

買い	取引相手	想定元本	満期日	売り	想定元本	純評価益（損）	純資産に占める割合
ＢＲＬ	Deutsche Bank A. G.	1, 035, 267, 349	2020/3/31	ＵＳＤ	(236, 290, 906)	￥ (774, 478, 625)	(2. 63) %

日本円・クラス外国為替スワップ契約

買い	取引相手	想定元本	満期日	売り	想定元本	純評価益（損）	純資産に占める割合
ＪＰＹ	Deutsche Bank A. G.	361, 327, 046	2020/3/31	ＵＳＤ	(3, 268, 079)	￥ 8, 431, 839	0. 03%

通貨セレクト・クラス為替スワップ契約

買い	取引相手	想定元本	満期日	売り	想定元本	純評価益（損）	純資産に占める割合
ＩＤＲ	Deutsche Bank A. G.	3, 400, 855, 917	2020/3/31	ＵＳＤ	(242, 382)	￥ (919, 955)	(0. 00) %
ＩＮＲ	Deutsche Bank A. G.	16, 727, 684	2020/3/31	ＵＳＤ	(233, 159)	(423, 674)	(0. 00) %
ＭＸＮ	Deutsche Bank A. G.	4, 970, 179	2020/3/31	ＵＳＤ	(258, 886)	(938, 600)	(0. 01) %
ＲＯＮ	Deutsche Bank A. G.	951, 656	2020/3/31	ＵＳＤ	(214, 917)	230, 459	0. 00%
ＲＵＢ	Deutsche Bank A. G.	15, 716, 531	2020/3/31	ＵＳＤ	(240, 814)	(867, 296)	(0. 00) %
ＴＲＹ	Deutsche Bank A. G.	1, 948, 286	2020/3/31	ＵＳＤ	(314, 452)	(628, 483)	(0. 00) %
合計						**￥ (3, 547, 549)**	**(0. 01) %**

用語集：

ＡＵＤ	豪ドル
ＢＲＬ	ブラジル・レアル
ＩＤＲ	インドネシア・ルピア
ＩＮＲ	インド・ルピー
ＪＰＹ	日本円
ＭＸＮ	メキシコ・ペソ
ＲＯＮ	ルーマニア・レウ
ＲＵＢ	ロシア・ルーブル
ＴＲＹ	トルコ・リラ
ＵＳＤ	米ドル

＜補足情報＞

当ファンド（ダイワ米国株ストラテジーα（通貨選択型）－トリプルリターンズ－）が投資対象としている「ダイワ・マネー・マザーファンド」の決算日（2019年12月９日）と、当ファンドの決算日が異なっておりますので、2020年９月７日現在におけるダイワ・マネー・マザーファンドの組入資産の内容等を掲載いたしました。

■ダイワ・マネー・マザーファンドの主要な売買銘柄

2020年３月10日～2020年９月７日における主要な売買銘柄はありません。

■組入資産明細表

下記は、2020年９月７日現在におけるダイワ・マネー・マザーファンド（65,027,450千口）の内容です。

国内その他有価証券

	2020年９月７日現在	
	評　価　額	比　　率
	千円	%
国内短期社債等	999,990	＜1.5＞

（注１）＜　＞内は、純資産総額に対する評価額の比率。
（注２）評価額の単位未満は切捨て。

ダイワ・マネー・マザーファンド

運用報告書　第15期（決算日　2019年12月９日）

（作成対象期間　2018年12月11日～2019年12月９日）

ダイワ・マネー・マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

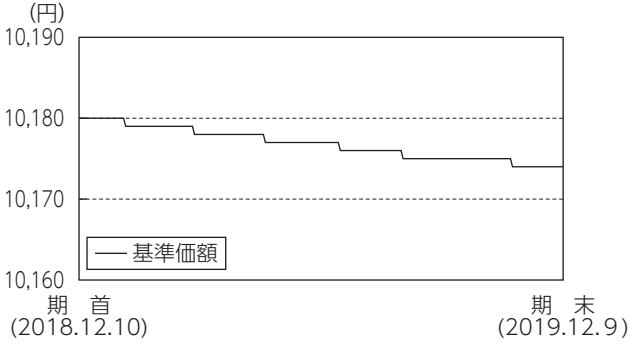
★当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	主としてわが国の公社債への投資により、利息収入の確保をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	本邦通貨表示の公社債
株式組入制限	純資産総額の30％以下

大和投資信託
Daiwa Asset Management

大和証券投資信託委託株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目９番１号
https://www.daiwa-am.co.jp/

■当作成期中の基準価額と市況等の推移



年　月　日	基準価額		公社債組入比率
		騰落率	
	円	%	%
(期首)2018年12月10日	10,180	－	－
12月末	10,180	0.0	－
2019年 1 月末	10,179	△0.0	－
2 月末	10,179	△0.0	－
3 月末	10,178	△0.0	－
4 月末	10,178	△0.0	－
5 月末	10,177	△0.0	－
6 月末	10,176	△0.0	－
7 月末	10,176	△0.0	－
8 月末	10,175	△0.0	－
9 月末	10,175	△0.0	－
10月末	10,175	△0.0	－
11月末	10,174	△0.1	－
(期末)2019年12月 9 日	10,174	△0.1	－

(注1) 騰落率は期首比。
(注2) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。
(注3) 当ファンドは、利息収入の確保をめざして安定運用を行っており、ベンチマークおよび参考指数はありません。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：10,180円　期末：10,174円　騰落率：△0.1%

【基準価額の主な変動要因】

短期の国債やコール・ローン等の利回りがマイナス圏で推移したことなどから、基準価額は下落しました。

◆投資環境について

○国内短期金融市況

当作成期を通じて、日銀は長短金利操作付き量的・質的金融緩和を維持しました。この金融政策を背景に、国庫短期証券（3カ月物）の利回りおよび無担保コール翌日物金利はマイナス圏で推移しました。

◆前作成期末における「今後の運用方針」

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

◆ポートフォリオについて

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債、現先取引およびコール・ローン等による運用を行いました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

《今後の運用方針》

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

■1万口当りの費用の明細

項　目	当　期
売買委託手数料	一円
有価証券取引税	—
その他費用	0
(その他)	(0)
合　計	0

(注1) 費用の項目および算出法については前掲の「1万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。
(注2) 項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■売買および取引の状況

(1) 公　社　債

(2018年12月11日から2019年12月9日まで)

		買付額	売付額
		千円	千円
国内	国債証券	350,004	－ (350,000)

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。
(注2) (　)内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。
(注3) 単位未満は切捨て。

(2) その他有価証券

(2018年12月11日から2019年12月9日まで)

		買付額	売付額
		千円	千円
国内	国内短期社債等	238,999,542	238,999,547 (　　－)

(注1) 金額は受渡し代金。
(注2) (　)内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。
(注3) 単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄
公　社　債

（2018年12月11日から2019年12月９日まで）

当		期	
買付		売付	
銘柄	金額	銘柄	金額
	千円		千円
801 国庫短期証券 2019/3/18	350,004		

（注１）金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。
（注２）単位未満は切捨て。

■組入資産明細表
国内その他有価証券

	当期末	
	評価額	比率
	千円	%
国内短期社債等	999,997	<1.2>

（注１）<　>内は、純資産総額に対する評価額の比率。
（注２）評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2019年12月９日現在

項目	当期末	
	評価額	比率
	千円	%
コール・ローン等、その他	83,690,918	100.0
投資信託財産総額	83,690,918	100.0

（注）評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2019年12月９日現在

項目	当期末
(A) 資産	**83,690,918,350円**
コール・ローン等	82,690,920,679
現先取引(その他有価証券)	999,997,671
(B) 負債	**51,646**
その他未払費用	51,646
(C) 純資産総額(A－B)	**83,690,866,704**
元本	82,259,129,638
次期繰越損益金	1,431,737,066
(D) 受益権総口数	**82,259,129,638口**
１万口当り基準価額(C／D)	**10,174円**

＊期首における元本額は78,610,288,449円、当作成期間中における追加設定元本額は112,484,550,034円、同解約元本額は108,835,708,845円です。
＊当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、ダイワ日経225－シフト11－　2019－03（適格機関投資家専用）1,850,319,411円、ダイワ・グローバルＩｏＴ関連株ファンド　－ＡＩ新時代－　（為替ヘッジあり）977,694円、ダイワ・グローバルＩｏＴ関連株ファンド　－ＡＩ新時代－（為替ヘッジなし）977,694円、ダイワＦＥグローバル・バリュー（為替ヘッジあり）9,608円、ダイワＦＥグローバル・バリュー（為替ヘッジなし）9,608円、ＮＷＱグローバル厳選証券ファンド（為替ヘッジあり）49,107円、ＮＷＱグローバル厳選証券ファンド（為替ヘッジなし）49,107円、ダイワ／“ＲＩＣＩ®”コモディティ・ファンド5,024,392円、ＵＳ債券ＮＢ戦略ファンド（為替ヘッジあり／年１回決算型）1,676円、ＵＳ債券ＮＢ戦略ファンド（為替ヘッジなし／年１回決算型）1,330円、ＮＢストラテジック・インカム・ファンド<ラップ>米ドルコース981円、ＮＢストラテジック・インカム・ファンド<ラップ>円コース981円、ＮＢストラテジック・インカム・ファンド<ラップ>世界通貨分散コース981円、ＮＷＱグローバル厳選証券ファンド（為替ヘッジあり／隔月分配型）180,729円、ＮＷＱグローバル厳選証券ファンド（為替ヘッジなし／隔月分配型）737,649円、ＮＷＱグローバル厳選証券ファンド（為替ヘッジあり／資産成長型）95,276円、ＮＷＱグローバル厳選証券ファンド（為替ヘッジなし／資産成長型）337,885円、世界セレクティブ株式オープン983円、ＤＣダイワ・マネー・ポートフォリオ4,249,607,706円、ダイワファンドラップ　コモディティセレクト317,107,941円、ダイワ米国株ストラテジーα（通貨選択型）－トリプルリターンズ－　日本円・コース（毎月分配型）132,757円、ダイワ米国株ストラテジーα（通貨選択型）　－トリプルリターンズ－　豪ドル・コース（毎月分配型）643,132円、ダイワ米国株ストラテジーα（通貨選択型）　－トリプルリターンズ－　ブラジル・レアル・コース（毎月分配型）4,401,613円、ダイワ米国株ストラテジーα（通貨選択型）　－トリプルリターンズ－　米ドル・コース（毎月分配型）12,784円、ダイワ／フィデリティ北米株式ファンド－パラダイムシフト－9,853,995円、低リスク型アロケーションファンドⅡ（適格機関投資家専用）4,212,646,194円、ブルベア・マネー・ポートフォリオＶ32,678,414,397円、ブル３倍日本株ポートフォリオＶ　31,868,647,270円、ベア２倍日本株ポートフォリオＶ　6,946,381,074円、ダイワＦＥグローバル・バリュー株ファンド（ダイワＳＭＡ専用）3,666円、ダイワ米国高金利社債ファンド（通貨選択型）ブラジル・レアル・コース（毎月分配型）155,317円、ダイワ米国高金利社債ファンド（通貨選択型）日本円・コース（毎月分配型）38,024円、ダイワ米国高金利社債ファンド（通貨選択型）米ドル・コース（毎月分配型）4,380円、ダイワ米国高金利社債ファンド（通貨選択型）豪ドル・コース（毎月分配型）22,592円、ダイワ／アムンディ食糧増産関連ファンド164,735円、ダイワ日本リート・ファンド・マネー・ポートフォリオ109,485,524円、ダイワ新興国ソブリン債券ファンド（資産成長コース）33,689円、ダイワ新興国ソブリン債券ファンド（通貨αコース）96,254円、ダイワ・インフラビジネス・ファンド－インフラ革命－　（為替ヘッジあり）5,385円、ダイワ・インフラビジネス・ファンド　－インフラ革命－　（為替ヘッジなし）11,530円、ダイワ米国ＭＬＰファンド（毎月分配型）米ドルコース9,817円、ダイワ米国ＭＬＰファンド（毎月分配型）日本円コース6,964円、ダイワ米国ＭＬＰファンド（毎月分配型）通貨αコース9,479円、ダイワ英国高配当株ツインα（毎月分配型）98,107円、ダイワ英国高配当株ファンド98,107円、ダイワ英国高配当株ファンド・マネー・ポートフォリオ980,367円、ダイワ米国高金利社債ファンド（通貨選択型）南アフリカ・ランド・コース（毎月分配型）1,097円、ダイワ米国高金利社債ファンド（通貨選択型）トルコ・リラ・コース（毎月分配型）2,690円、ダイワ米国高金利社債ファンド（通貨選択型）通貨セレクト・コース（毎月分配型）1,350円、ダイワ・オーストラリア高配当株α（毎月分配型）　株式αコース98,203円、ダイワ・オーストラリア高配当株α（毎月分配型）　通貨αコース98,203円、ダイワ・オーストラリア高配当株α（毎月分配型）　株式＆通貨ツインαコース982,029円、ダイワ米国株ストラテジーα（通貨選択型）　－トリプルリターンズ－通貨セレクト・コース（毎月分配型）98,174円です。
＊当期末の計算口数当りの純資産額は10,174円です。

■損益の状況

当期　自2018年12月11日　至2019年12月９日

項目	当期
(A) 配当等収益	**△　42,819,286円**
受取利息	111,756
支払利息	△　42,931,042
(B) その他費用	**△　2,381,736**
(C) 当期損益金(A＋B)	**△　45,201,022**
(D) 前期繰越損益金	**1,418,229,476**
(E) 解約差損益金	**△1,927,237,136**
(F) 追加信託差損益金	**1,985,945,748**
(G) 合計(C＋D＋E＋F)	**1,431,737,066**
次期繰越損益金(G)	**1,431,737,066**

（注１）解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。
（注２）追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。